

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-65)、
廃棄物管理施設(40)、MOX燃料加工施設(2-30))」

2. 日時：令和5年6月13日(火) 15時30分～18時00分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大橋上席安全審査官、大岡主任安全審査官、岸野主任安全審査官、田尻主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX設工認総括副責任者 他2名

関西電力株式会社

原子力事業本部 プラント・保全技術グループマネジャー

東電設計株式会社 土木部 耐震技術部 担当職

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの当日提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

・設工認申請の対応状況について

(2) 日本原燃から、次回審査会合において、主に以下のとおり対応する旨回答があった。

・設工認の審査対応については、それぞれの説明内容で重複している点や関連性が不明確な点があるため、整理して説明する。

・地盤モデルについては、設工認の審査対応で説明する改善策との関係を整理して説明する。また、基本地盤モデルと申請地盤モデルの比較後の対応について再整理して説明する。

・設備の構造設計等については、整理できた事項、引き続き検討が必要な事項等を明確にして説明する。その際、MOX施設だけでなく再処理施設も含

めて全体としての対応状況を説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

「設工認の対応状況について」

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和5年2月28日）
「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

時間	自動文字起こし結果
00:00:01	録音開始しました。
00:00:05	ただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。
00:00:09	本日のヒアリングは、令和4年12月26日に申請があった、再処理施設及び廃棄物管理施設、
00:00:16	令和5年2月28日に申請があったMOX燃料加工施設について、6月13日の提出の資料をもとにヒアリングを行うものになります。
00:00:26	規制庁が出席者は本庁から古作。
00:00:30	おうか、紙で。
00:00:32	尾野。
00:00:33	竹田山口、横山、あと後程幅先がこういう島になりますと、WEBからは岸野大橋、館となります。
00:00:44	それでは、日本原燃から出席者の紹介と、議題の構成、説明範囲、
00:00:50	お願いします。
00:00:55	はい。日本原燃、私の方から出席者について、
00:01:01	本日日本原燃側より、決得。
00:01:08	の方が出席してございます。
00:01:15	他の出席者については本日はございません。日本原燃
00:01:22	はい。
00:01:25	すいません。
00:01:27	提出をさせていただきました。
00:01:51	規制庁横山です。と、それから、
00:01:54	議題に入りますので、日本原燃から説明をお願いします。
00:02:00	はい。入院の医者でございます。審査会合資料でございますが、
00:02:06	大きくパートを三つに分けて、資料を構成してございます。
00:02:12	資料の2ページに、その三つの項目は不書いてございます。
00:02:20	申請、これまでの施設の審査対応等についてということが1番目、2番目が耐震関係の進捗ということを3番目が、
00:02:31	MOX閉じ込め上部に係る構造設計等の説明の進捗ということでございます。
00:02:38	1ポツの方が、右下3ページに表紙がございまして、右下4ページ、5ページに、
00:02:48	二つのパートで記載をさせていただいてございます。

00:02:53	セット公認の対応、審査対応等についてと言いながら4ページの方は、会社としての全体的なこれまでの反省等今後の対応をどうしていきたいかと。
00:03:04	いうこれは当日、大垣の方から説明をさせていただきます。役員としてのメッセージも含めて、5、4ページがパートになってございます。
00:03:16	はい。中身は書いてある通り、文章家族内ですので書いてある通りです。申請をした以降、なかなか今進んでいない状況これは、
00:03:27	全体的にはやはり我々の準備不足が原因であろうと。ただそれには、
00:03:32	審査的な目標達成を強く意識した業務遂行があったということが全体的な背景にあるんじゃないかということ、あと施設の管理の方でもいろいろとトラブルであったり、
00:03:44	ご報告しなきゃいけない事象が起きているという状況であり、
00:03:47	これは管理体制等の問題が顕在化している状況であるという認識をしています。ということでこういった状況から、役員みずからやはり実態を把握して、
00:03:58	計画の策定医師会と関与していくということ、また状況を確認した上で、計画にフィードバックをかけると、見直しをするということがやっぱり必要だろうということの周知をしてもらってしております。
00:04:10	加えて、客観的な根拠に落とす技術論というのをしっかりと組み立てていくということの、それができるような社内風土を殊、助成していくことが必要というふうに認識をしていると。
00:04:22	いうこと。
00:04:23	最後のためにつきまして起こったことを、実態を把握するという一つのアイテムとして、社長が先頭に対応して同等の対応活動をやっていくと、いうことを趣旨やっているということで、
00:04:35	こういったことをやりながら、問題をまずしっかりと把握をするということと、改善策につなげていくと、いうことを進めていきたいということが4ページの趣旨でございます。
00:04:49	5ページがですね、
00:04:53	これ当日決得の方から説明させていただきます。これがマークタイトル通り行ってございます学校委員会を、これまでの対応についてということと、

00:05:03	4月の審査会合で Steering チーム電力さんの支援を受けて Steering チームを
00:05:08	起こすと言いましたということでそれ以降、2ヶ月たって何が進んでいるのかと、いうこと、目に見えるような成果っていうのは、ヒアリング等々でまだ見せられてないところもあると思いますけども、
00:05:20	Steering チームが組成してまずは今、実態把握をやっている状況だということですよ。
00:05:28	その中では棘波との関係を踏まえた設工認として説明指摘事項どう考えているのかというのを、設置公認の実践担当から状況を聞いているということですよ。
00:05:39	その中でもやっぱり、設計、自分が決めた設計ありきでやはりその客観的
00:05:46	垣内
00:05:49	優奈。
00:05:54	認識をしているところ
00:05:57	でその実態把握等々を踏まえまして Steering チームとしてやはり、設工認としてどういう説明
00:06:05	をしっかりと説明方針を策定をして、その方針を、
00:06:09	で、
00:06:09	事実確認等の場で説明責任を、
00:06:14	実践してみせると。
00:06:19	で、登坂社員に対してあるべき姿を見せて、
00:06:22	それができるようにしていくんだということが一つのメッセージ。
00:06:28	激励ではということで、今回、10数ページからですかね。
00:06:33	このページはすいません間違い。
00:06:35	訂正をさせて
00:06:37	一般の1エリア、
00:06:45	データ、
00:06:51	これが
00:06:54	後の、
00:06:55	構成になります。
00:06:59	プリンター喜田
00:07:03	規制庁古作ですけど、まず、

00:07:06	1 ポツの表題なんですけど
00:07:09	これまでのだと、
00:07:11	どういことをやってきましたが以上になっちゃって、どちらかという とやってきたところなり、それで認識したところ、
00:07:20	とかは言ってもらうのは、
00:07:22	あくまで、
00:07:25	今後、こうしていきますよっていうことがやっぱり大事なので、
00:07:30	表題のこれまでののは消していただき、
00:07:35	ということです。で、
00:07:39	その上で4ページ5ページの記載は、結局文章を少しブラッシュアップ しただけで、
00:07:46	あまりその趣旨が明確になっていないっていう気がするんですけど、な んで、
00:07:56	はい、人間仁科でございます。はい。まずは4ページですね。
00:08:03	4ページのところはおっしゃっていただいている通り上四つのポツがあく までこれまでの事実確認関係を書いていると。5ポツ目が、
00:08:15	役員としての大きなメッセージとして、
00:08:19	今後こうしていきたいということなんですが、
00:08:24	ふわっとしてますねってとこですね。
00:08:28	はい。それは重々認識をしております。
00:08:31	はい。一つは、すいません
00:08:35	資料として、
00:08:37	あまり長々と書くなと思って私が文章を圧縮したことにも原因があるか もしれませんが、とはいえこの中で結局、何を役員みずからしていく、 そうやって背中を見せていくのかっていうところが、
00:08:52	本人としては少なくですけども、
00:08:56	しっかり実態を把握した上でそれに従って役員みずからその計画という のを、
00:09:01	示していくんだということが一つ。
00:09:04	その計画を作ったからそれで終わりというわけじゃなくて、計画に沿っ てやってもらってやった結果、何らか問題があればそれをしっかりと計 画に戻していくんだと。
00:09:15	ということまで、本間役員みずからがちゃんとその検討、

00:09:19	変動するんだと。
00:09:20	いうことが一つの
00:09:22	メッセージではないかと思っておりますが、
00:09:25	それが読みづらいかもしれません。
00:09:29	はい、古作です。その通りで、
00:09:33	まずう今言われたような構成なんだとしたら上の四つを一つ枠にして、
00:09:39	そんなにだらだら書かなくて、
00:09:43	問題点。
00:09:45	そして本と書いて、具体的にこういうことかっていうのは、
00:09:49	より小さく、
00:09:52	1段下げたの箇条書きぐらいにしても、
00:09:57	いいんだろうなど。
00:09:59	思うんですね。
00:10:00	なんでそこへんでこれで、これまでの状況っていうこと。
00:10:05	もう、ちゃんと事実関係と設備。
00:10:07	ノン事実関係の認識として上げてもらう
00:10:13	で、そのあとその問題点の認識
00:10:17	いうところで、
00:10:19	整理をして、
00:10:20	見ると
00:10:22	ますんで、その上でした二つですけど、
00:10:30	まず、これはふわっとしてるというか、
00:10:34	対策ではなくて、
00:10:38	問題点の認識というか方向性でしかない。
00:10:42	ね。
00:10:44	とする等、そのために、
00:10:47	何をしていくんだと。
00:10:49	いう。
00:10:51	具体であり、その具体は、
00:10:54	それぞれの、
00:10:56	立場に講じたものがあるんだ。
00:11:00	で、Steering チームの立場、
00:11:02	現場レベルっていう意味では次のページにあるんですけど、

00:11:06	その上、マネジメント層としてののってというのはこのペイジーであるべきことだろうと。
00:11:12	いって、
00:11:14	そのために大柿さん出席されるんでしょうから、
00:11:19	認識とかコミュニケーションをっていうの、
00:11:24	では、
00:11:26	方法論、入口でしかない。
00:11:28	で、
00:11:29	物を入れれば変わるんだと実感してもらえようっていうのは、
00:11:36	変わるんだって、何を変えるんですか。
00:11:40	どうしていくんですか。
00:11:43	という実行策は、
00:11:45	まだないんですか。
00:11:47	うん。
00:11:47	原燃の
00:11:49	マネジメント沿って2ヶ月もたって、まだ具体策も出さずに済む。
00:11:56	いう時間間隔。
00:11:57	ね。
00:11:59	竣工竣工と言ってる割には随分のんびりしてるんですねというメッセージを発信したいんですか。
00:12:07	はい。はい、ありがとうございます。おっしゃる通りですねちょっと何をするか具体のところかけてませんので、具体のところちょっと変えてもう一度やっていきますけれども、実際は業務の計画が弱いと。
00:12:19	いたところ認識して、その業務の計画を作る指示をしてそれを今、作って、ヒアリングをして策定、終わりつつあるところ、段階ですのでそういったところが、
00:12:31	最初は行っております。ただ、そこちょっと全く欠けてませんので、ここは計画を策定しフィードバックをかけるところちょっとわっとなってますので、業務の計画を作るのが弱かったので業務計画を
00:12:43	きっちり作るという指示部隊の、
00:12:45	そこの最初の方になっております。その辺ちょっと少し役員がそういうのを指示してやらしてやっているといたところを書きたいなど。
00:12:53	ストック古作です。そうだとすると、逆に疑念が生じるんですけど、

00:13:00	実態に即した形カクウである必要があって、
00:13:05	それは実態を把握するとともに、実態の裏付けをとった計画ができてい ると。
00:13:13	ということですけど、
00:13:18	何でできてるんですか。
00:13:20	2年以上できなかった人たちが、
00:13:29	これ細かな話ですべての代わりに当たるものではないんですけどある一 部の側ではですね業務の計画とか社内方針に基づく大きな方針に基づく は作ってるんですけども、ルーチン業務が入ってなかったりですね。
00:13:42	この人が何をやるっていう構想具体まで展開されていなかったと。
00:13:47	いたところがございましてですね、
00:13:50	目標ありきのところでは計画は作っていたという実態もございましたの でやはりそのマンパワーであるとか、リソース、リソースに踏まえた計 画を作るという、そういう視点で作る、作り直しているというのが実態 でございますのでその辺の、
00:14:05	ところが少し見直すとして表れるようなことを少し、
00:14:09	記載すべきかなといった、そこはまさに反省のところ、上の話にも入る かもしれませんが、そのようなことを少し、
00:14:17	わかるように、
00:14:19	記載したいと考えております。
00:14:20	古作です。今の話からすると、計画という言葉がいろんな意味合いがあ って、
00:14:28	作業計画というよりは、組織計画のような、
00:14:33	この組織
00:14:34	この部署、
00:14:36	の、
00:14:37	業務は何か。
00:14:38	その業務分担として誰が何をやるか。
00:14:42	という、
00:14:44	QMS 的な、
00:14:46	計画。
00:14:48	のことを言われたのかなという気がしていて、そこのその制度が甘かつ たと。

00:14:53	或いは
00:14:56	まさに QMS の保安規定上レベルの
00:15:01	ことでしかなくて、
00:15:02	具体の年だったり、月だったり、
00:15:07	行ったところの業務っていうところの意識までブレイクしていなかった ってということのように聞こえたんですけど。
00:15:16	それはそれでしっかりやっていただいて、
00:15:22	個別のその業務に当たっての意識っていうのは大分それで違くなるんで しょうから、
00:15:28	そういう趣旨は伝えていただければなと思うんですけど。
00:15:32	一方で今回、話のあったのはそれ、その先の、
00:15:38	作業計画として、いつ、どこまで、
00:15:42	ていうこと。
00:15:43	やってどこまでの中には
00:15:46	必要な範囲がしっかりと盛り込まれていて、
00:15:50	その達成するための作業プロセスが明確になると。
00:15:56	ということだと思っていてですね、前回のヒアリングとかを踏まえると、 その認識が甘かったっていうのが根本的な問題なんじゃないか。
00:16:08	思ったんですけど。
00:16:11	それが
00:16:12	認識。
00:16:15	できたのであれば、
00:16:19	もうヒアリングなんて、
00:16:20	1ヶ月って何ヶ月ある。
00:16:23	あまり頻繁にやらなくても、ちゃんとしたものを作ってもらえば審査が できると。
00:16:29	いう状況になるはずなんですけど。
00:16:32	現状のヒアリング所見を見るとまだそこまで達してるとは到底思えない んですね。
00:16:38	てすると、この計画が立てましたっていうと、
00:16:42	語弊があるような気がしてって、
00:16:46	それにもだからステップが2、ここの段階
00:16:53	というふうにやって、

00:16:54	ていきますっていうのがないと。
00:16:57	認識がずれるんだ。
00:17:00	そこまで来ないとですね、4月の社長との意見交換での計画を立ててと。
00:17:09	結局その竣工時期にとらわれずにというときには、次に足のついた時系列としての作業計画、
00:17:18	積み上げっていうのをしっかりと社長間で認識共有をすると。
00:17:22	いうことが必要なわけで、
00:17:25	そこに辿りつかない。
00:17:29	そのの、
00:17:31	何ですかね、段階は明確になるような整理。
00:17:36	日本レベルです。ここまで来たここはまだこれからといった、まだ途中、おそらく途中の段階でございます。
00:17:43	わかるようにちょっとあります。
00:17:49	補足でその上で、5ページですけど、
00:17:53	こちらも好き所で、ちゃんとその事実関係と問題認識と、
00:18:02	現状やったことを今後やること。
00:18:05	いうことははっきりとして欲しいということ。
00:18:09	ですけど、
00:18:14	おそらく一つ目の実態把握もまだ御合意。
00:18:18	ねえ。
00:18:19	なんでどこまで把握できたのか。
00:18:27	少なくとも現状の把握状態から、二つ目のポツとしての問題認識。
00:18:32	いうのはあるんでしょうけど、
00:18:34	この二つ目のポツの問題認識が一かぎ括弧で二つで書いて、
00:18:42	ますけど、
00:18:44	二つ。
00:18:47	今。
00:18:48	平気で並ぶようなものなのかなっていう気も。
00:18:57	結局ワー
00:19:01	根拠の説明が不十分とかっていうのは、何でそう生じているのかっていう問題認識をしっかりとしないと、
00:19:09	是正できないんだなあということが数ヶ月、

00:19:13	さんざん特に、
00:19:15	耐震地盤モデルですね、話をしてて、収集をした。
00:19:20	ポイントだろうなというのをようやく我々も感じてきた。
00:19:25	ところで、
00:19:30	既認可という古藤の個室というかですねそこから外れないように、
00:19:36	基本やるもんだと。
00:19:38	許認可ってそういうもんなんだと思い込んでいたっていう。
00:19:42	ところを、そうではなくて一つ一つちゃんと積み上げなきゃいけないんだと、状況の変化があってそれに対して、
00:19:54	一通りの
00:19:57	検討と、それに対しての説明というのが必要なんだと、いうのは少なくとも、
00:20:03	ヒアリングに来られてる方は認識をされたと思っているんですけど。
00:20:10	それを明確にしないとですね。
00:20:13	ここにいない人、
00:20:17	特に今後のその構造設計等の説明に於いて、各場に対応される方と、
00:20:24	いう人たちもしっかりと同じ認識をとらないとですね。
00:20:29	ヒアリング自体はヒアリ Steering チーム頑張れば、
00:20:33	何とかなるかもしれませんが、頑張らなきゃいけないし、
00:20:37	サポーターがなかなか追従してこないっていうのを叩かなきゃいけないという頑張りもされ、必要で、
00:20:43	いうので、とても身が持たないと思うので、
00:20:47	こういったところでしっかりとその認識を、
00:20:51	社としてまとめて、認識を共有していくと。
00:20:55	いうことも対応いただきたい。
00:20:59	といいます。ここで明確にされないと。
00:21:02	質疑で相当ここ時間 9 分、
00:21:05	なるべく社として整理をして、
00:21:24	で、三つ目のポツはやってることっていうことなんで、それはよくて、
00:21:31	その次のポツも、それで
00:21:35	その効果というところで次、
00:21:38	こういう意識を持ってやってきますということなので結構、
00:21:46	次、下から二つ目。

00:21:48	についてはそのページにつなげるっていう、
00:21:52	趣旨で具体を一度使っていらっしゃる。
00:21:57	思いますけど、
00:22:10	記載がどうかっていうのはちょっとあれですけど、
00:22:13	そのまでの四つのポツで書いていることと、
00:22:18	どういう繋がりがあって1例と言っているのかが少しわかりにくいなという。
00:22:24	気もしてはいますね、このデータに基づく整理からやり直さっていうのは、
00:22:30	上のどこに該当するのかっていうと、
00:22:33	実はあんまり文言としては成功してない。
00:22:50	私が今こう話せるのも、このポツでのやりとりを、
00:22:55	踏まえてという、
00:22:57	その意味では、例示としては意味がある。
00:23:03	江藤最後のポツは、
00:23:07	前のこれによりと言ったのとどういう関係にあるんでしょうか。
00:23:13	はい、結城医師。
00:23:17	荘司木場。
00:23:22	先ほどもあった必要なことを1年ずつ積み上げるっていうからすると、まず今設工認を通して、次、人材育成とかあるべき姿に皆持っていくっていうことを、
00:23:33	ヒアリングチームが規定になってやろうということをやっています。それをやはり、先ほどおっしゃっていただいたように、いろんな人間共有をしてどんどんどんどんその場を広げていくということ。
00:23:43	それが最終的には、工場自体の運転だったり、目下のこういった
00:23:50	もう人の意識にも繋がっていければなというところで、最後はその輪を広げるという意味で書いておりますが、決得のパートでここまで書く必要があるので、
00:24:04	どちらかと4ページで書けるっていう感じも思っています。
00:24:08	はい。
00:24:10	古作ですわかりました
00:24:13	四つめのポツそれも含めて読める読めるんですけど、確か2、今回のSteering 事務課での設工認対応っていうことと、

00:24:24	それを超えて者として
00:24:29	組織の構築なり、文化
00:24:32	醸成と。
00:24:34	そうだとすれば、4 ページの話。
00:24:37	ということで、
00:24:38	整理をしていただいて、
00:24:43	そうだとすると、四つ目のポツがす。
00:24:48	次期 Steering チームっていうことだったりっていうこと。
00:24:52	になるわけですね。
00:24:55	そのあたりは、逆にその意味。
00:24:58	4 ページの 5 ページでいうのであれば、その
00:25:02	具体より、
00:25:03	見せていただいた方が、
00:25:08	わかりやすいかなと思いますし、
00:25:12	何でそれが必要かってなる。
00:25:15	思ってやられてるかという、設工認の進捗が現状のスピード感を維持したんでは、とても
00:25:25	良くないと。
00:25:27	スピードアップしたいと。
00:25:28	スピードアップするための設工認体制って何だろうっていうと、こうやりとりする人間をふやしていかないといけないという認識に立たれているからだと、いうふうに、
00:25:40	思いますので、
00:25:42	それをそう言っていただければそうなればどんどんスピードアップするんだねと。
00:25:48	いつそうなるかもしれませんが、
00:25:51	少なくともその指標として意識しておられると。
00:25:56	いうことはわかるので、
00:25:59	その意味では、
00:26:00	今後その説明、
00:26:03	できる、我々とコミュニケーションがとれる。
00:26:07	人が増えてきたという実績が見えれば、
00:26:11	変わってきている。

00:26:13	進みは変わるはずだと。
00:26:15	いうこと。
00:26:18	で、説明できるネタができるんじゃないか。
00:26:29	1 ポツは、
00:26:31	他にどなたかいらっしゃいますか。
00:26:38	はい、古作です。2 ポツの方で、
00:26:41	ポイントで結構だと思いますけど、
00:26:44	じゃあ、2 ポツの方。
00:26:47	すいません。1、2 右下のページ、7 ページ 8 ページは、おさ補助員の安東城の区域でございます。等級ページ 3 日 9 ページが、
00:26:59	ここは発生ところの対応をグラフで、
00:27:04	はい、磯でございます私がしゃべってよかった、いない。
00:27:10	とうとうございまして、その辺のところ先のところでこれまでの反省点と、いうところで、抗菌カードの実績を投入しなければならないと先入観があって、今まで施栓基盤ホテルというのを適用できた。
00:27:28	いうことをまず行って、その次のポツで本来であれば、その日銭場モデル園を基に下通りでなくて、その後の状況の変化として、
00:27:40	真木大西の増大ですとか、適用範囲の増大です。拡大ですとかそういうところをきちんと把握して、この押せ消せばないところを少し前例踏襲の形でやってきた。
00:27:56	いったところなのは瀬尾野辺でございます。
00:27:59	その次のポツのところ今後対応として増えてこれの裏返しですけども、まずは、その地盤までの検討を、これは申請地盤モデルの考え方にとらわれずに、一般的な手法でやります。
00:28:14	いうことと、その定義をお伝えしましてそれをやった上で、申請基盤モデルとの比較を行いまして、うちが整理した上で、改めて、設計として採用すべきものを、
00:28:26	適切に設定いたしますと、いうところを述べてございます。ここまでは考え方を述べておりました保護のことは何も言っていませんので、その次の 10 ページで方法論、
00:28:37	について展開するという方向性でございます。

00:28:40	方法論についてですけども、検討進め方のまず、増えて、山路三つ書いてありますけど、これは検討における基本的な考え方といいますか根本としている基づく考え方を、
00:28:54	を示しております、12グループにおいて許可近傍のをちょっと考慮するということ、見られてるデータすべて使う、各因子に対する検討で、特性を、出ても随時設するというのを基本の、
00:29:08	考えとしながら、舞台論として、フローの形で書いておりますけれども、一般的標準的な地盤モデル、の設定方法に基づく基本地盤モデルを作成。
00:29:21	で、それに基づいて、申請基盤モデル等の差異を整理分析して、申請基盤までの適用性確認それから設計用のものを設定していくと。
00:29:32	よう段取りになっていくということを書いておまして本日はですね、御説明がこの基本地盤モデルを作成このところであるということがデータとしてわかるように、
00:29:43	記載してございます
00:29:44	右のところの ABCD では、各等、気づきまして、これまでの
00:29:51	生徒、それを
00:29:54	今後どういう
00:29:56	のかという
00:29:59	ところに、
00:30:03	計 12 ページ、13 ページ、16 ページで、
00:30:06	それぞれですね要因に対しまして、
00:30:10	ちょっとあわしずつにちょっと押し込めて、記載をいたしましたけれども、それぞれ一般的標準的な資本に基づく整備と、
00:30:20	それからそれに基づき、この今回ですね、設定した結果がどれになるかということ、それぞれちょっと端的に柴野で記載してございます。
00:30:34	岩盤通ってすいません。右下 11 ページの岩盤棒の分析についてでありますと、ここは、
00:30:42	この金鍛冶と比べて、エリアが拡大されていること、それから新しいデータがえられてることを踏まえて設定するんだと。
00:30:51	ということで、方針としては 1046 まで時期を 8 名に示される、12 ブロックに対して整理するということで、ワンボイスですね、どういう形で設定したのかというところを、

00:31:03	青の線で囲ってるところに、それぞれまとめているというところがございます いましてこの岩盤部の物性値を設定結果であれば、られてるデータすべき
00:31:13	赤と青を使って、
00:31:19	交流こういう形で、
00:31:23	その次の、
00:31:25	富井さん 12 ページのところだと非線形性についてというところも一般的標準的な資本基づく整理と、
00:31:35	いくなそうですね地盤せん断ひずみが S_s となることで大きくなることを踏まえた設計化による補正低下が、入力地震動による、
00:31:47	入力地震動に及ぼす影響の確認を行い、非線形で扱うべきか選挙で扱うことができるかの判定を行うという基本的な考え方を述べた上で、青、
00:31:58	青線で入れているところですけども、この検討の結果非線形による小さいことを確認ということを端的に記載してるところでございます。
00:32:10	で、13 ページのところも、
00:32:14	ところの、大きくゆるい則った評価を実施するというので、9 は、いやいや、もう 187 に示される動的法に基づいて、月よそ評価するということを一般的標準的な表もそこ正規というふうに整理した上で、
00:32:29	評価結果として、一応 6.7% に市が 6.3% 東は 5.1% ちょっと結果だけ先走った形でちょっと載せておりますけれども、こういう結果が起居結果としてられたと。
00:32:43	いうところを結論として記載してございます。
00:32:46	そうですね。減衰のですね検討に用いたそのチャート等々を本社に並べるといって記載してございます。
00:32:56	右下 14 ページ表層地盤ですけども、これのところににつきましては一般的標準的な規模に基づく整理としては、まず引き上げられてるデータをすべて用いると。
00:33:07	いうことと、あと特筆することとして銀行材料である地盤ということで、施工プロセス技術管理条件にも着目した確認を実施すると、これを
00:33:17	基本方針としまして、結果としては、人工地盤である地盤が、総施工プロセス必須管理条件、
00:33:25	等を見たときに、土肥富安ことができて平均値を用いますと、

00:33:30	いうこと、それから梅本表については、拘束拘束圧の影響による深度依存性を考慮した、物性表示を適用できるという話と、
00:33:40	社会の入力地震動には表層に思い込まれている、いずれの武あたりでも、表層地盤法です。駒井プラスでやっていきますということが、これは我々の基本基盤モデルでの設計方針をここで書くと、
00:33:53	議会の中で禁止ということであります。
00:33:56	で、この中でですね、14 ページ議員の下のチャートのもので、すいません。江藤。左から 2 番目の二つは昨日のちょっとヒアリングのところでは、
00:34:09	まだお示しできていなかった本ですけども、V 層も、物、これを 1999 年以前と以降、これを加算掛けする形で、
00:34:19	1999 年以前が、観測開始合計 2000 年以降が暖色系ということで、その岡本代表で特にですね、傾向がそれぞれ分かれてるわけではないかということを示すような、
00:34:34	データとしてお示ししてるもので、
00:34:37	それから、これらを踏まえまして 2016 ページでございますけれども、基本地盤モデルとしての作成ということでここはちょっと池辺といたしまして、周辺、
00:34:48	の基本地盤モデルということで設定してございまして、先ほどの BTB のそれぞれのいい日につきまして、結論を上の方で述べてございます。それを用いまして、
00:35:01	その地盤モデルと出しての具体のモデルを起こしたのですね。
00:35:08	表で示していると言ったようなところになってございまして A 日比野それぞれの検討が反映された下表を少し対応で、荒巻三角。
00:35:19	8 日だけまとめました。
00:35:21	最後に 16 ページでございますけれどもの小物だよということで、少しちょっと前とかぶってる場所あるんですけども、ここで新しい情報として申し上げてるのは、今後、
00:35:32	標準以外についても、基本地盤モデルを作成をしていきますと、いうことをまず申し上げているというところでございます。この後のステップといたしまして、
00:35:43	入力地震動の算定結果申請基盤モデルとの間で行ってきが整理して、この整理をもとに、端的に用いるものを検討して参りますと。

00:35:54	いうことは後書いているというところでございます。2017 ページはこれ は
00:36:00	さしていただくための、館野をグルーピングIIでございます。
00:36:04	2 ポツは以上でございます。
00:36:12	規制庁上出ですけど。
00:36:15	今の話で、
00:36:17	手足で、
00:36:19	ざっと資料を説明して 10 分ぐらいですかね。
00:36:23	会合だと、もう少し
00:36:27	例えば 12 ページとかでも、高野スペクトルがこういう、
00:36:32	合致具合だからいいんだと思ってますとか
00:36:36	13 ページも、東映とのデータをどう見ているからこう判断するんだみた いなところをちゃんと説明してもらった方がいい。
00:36:44	そうなると、
00:36:45	15 分で 20 分ぐらい。
00:36:51	じゃあの世界で、
00:37:04	別に言っていたいて構わないんですけど、
00:37:08	肝心なのは説明されたことが一聴衆側が理解できるかっていうことなの で、無理に時間を短くしようという、
00:37:18	ことは考えなくて結構です。
00:37:23	順々に落ち着いてポイントわかるように話をしていただいたら、
00:37:29	承知いたしました。
00:37:32	はい。規制庁深見ですが、あと資料だと、
00:37:35	七、八は 1 として 9 ページで、
00:37:40	今回はその一般的標準的になっていうところ。
00:37:44	が、
00:37:45	張りつつも、
00:37:47	うん、なんかもうちょっとこの話を繋がっていくんですけどっていうのが わかったほうがいいかな、今後の対応の 1、
00:37:54	四つ目の丸。
00:37:56	ページだと、本日ご説明範囲とかっていう、
00:37:59	どう、
00:38:02	際立ってないんで、

00:38:04	わかりやすい
00:38:07	と。
00:38:08	の下のポツ最後のポツの、
00:38:10	昨日もちょっと話しましたが、
00:38:13	一番最後それ以外の場合は基本地盤モデルをベースとして上がったのは地盤モデル。
00:38:20	書いた。
00:38:21	非常にやっぱり
00:38:27	普通に私思うのは、別に基本地盤モデルってやれば、
00:38:31	原燃としては、基本地盤モデルを使いますって宣言すればいいと思うのに、やっぱり、
00:38:39	します。
00:38:46	モデルを、
00:38:48	まずは我々が設定する
00:38:52	もう、
00:38:56	ないとですね。
00:38:59	内容についてそのまま設計に使っていいのかという議論が、
00:39:05	後段で、やはりあり得るのかなというところの含みも考えつつ、
00:39:13	このそのまま使うっていう、言い切るのはちょっと故障そうかなという思いで書いてます。
00:39:21	規制庁、五味です。そうなるとう結局、一般的標準的って何ですか。
00:39:26	私、
00:39:28	そういうノーマルなものだったら当然申請に使っていいものでしょうか。
00:39:34	なると思うんですね。はい。
00:39:36	で、結局またどうしたものかみたいな話を、そこでしかも会合でそういう話になっちゃうと、何なんだって感じになると思うんです。
00:39:47	はい。
00:39:56	補足です。それ言うとそれ以外の前も、
00:40:01	今回はすでに申請をされていて、はい。
00:40:05	申請地盤モデルにて解析結果を出しているので、
00:40:11	それを見直さなきゃいけないのかどうかという、
00:40:15	段階にあるから、

00:40:17	こういうことを言っているだけで、はい。
00:40:20	0からやるんだとしたら基本地盤モデルなわけじゃないですか。そうですね。はい。
00:40:25	とすると、こんな言い方になるのかっていう気もするん。
00:40:33	先生において、どういう評価をするかという時には申請地盤も、
00:40:40	いうのは構わないんですけど、
00:40:42	設計用地盤モデルとして採用するって言われちゃうと、
00:40:47	今後もう、これ使うつもりですかっていう。
00:40:52	覚えちゃって。
00:40:54	申請しているという。
00:40:55	技術。
00:40:58	そこら辺を
00:41:01	認識をですね、
00:41:04	そういう認識なんだったらそういう議論をしますけど、
00:41:08	そうじゃないんだったら、言葉を改めていた時で、もし
00:41:14	前も物性中央、
00:41:17	全部使うといってももう十分でしょうと、ばらつきを見るにも十分であって、データ拡充必要ないですよと。
00:41:24	というような話をしたいんだったらそういうようなことを言っていただいてもいいんですけど。
00:41:31	数それを言うにしてもこの表現も乱暴で、
00:41:37	それでいうとまずは比較をして、
00:41:41	本、
00:41:42	現申請においての取り扱いと、
00:41:45	いうのを
00:41:46	整理をします。
00:41:49	いうのが
00:41:51	まず、
00:41:53	今決めるっていうことでその先のどういう色づけをしていくかとかっていうのは、
00:42:02	明確に
00:42:05	基本上はモデルを使いますので、
00:42:09	そうでないものについてはぐらいだったらまだ、

00:42:12	あれですけど、
00:42:15	どうしたいかによって、もうちょっとその位置付けを明確にして、
00:42:20	それに応じてこちらも、
00:42:22	審査会合でお話させ
00:42:30	観点のものでございます。今おっしゃっていただいたように本作品性において、
00:42:37	の取り扱いを、この比較を踏まえて整理しますここまでは、全く異論がなくてそのあとちょっとどう続けるかと。
00:42:47	いうところなんだろうと、いうふうに思うんですけども、我々の方としてはあれですねさっきも言っていただいたように申請して返してるものがあるので、
00:42:58	この入力地震動の、このアウトプットを見て、その施設を評価して使うすなわちこの基本地盤モデルの方が上回る。
00:43:09	すいません下回ると、いうことで、今まで申請基盤までには堰を使うと判断できれば、それで公開の申請のモデルとさせていただくということではあるし、
00:43:21	もしもそれが適切でないということになる設計としてやっぱり適切でないということに我々がなれば、これは申請を見直すことを検討させていただくというのが、今回のスタンスなんだろうというふうに思います。
00:43:35	で、いうことを、
00:43:39	割とはっきり書いてしまう。
00:43:41	効果と、いうこと。
00:43:44	です。
00:43:45	衛藤さんは、
00:43:47	うん。
00:43:49	だから、二通りあって右の決得でございます。小坂さんが言ってくれてるに申請におけるおける整理を行う止めるのか、今野元のようなところ。
00:43:59	疲れんところはやりますまで書くのか、これのちょっとコメント浜崎さんからいただいたのはそこまで変えた方がいいんじゃないか、いただいでるので、各方向でちょっと日本語を書いて持ち帰って、
00:44:11	いきたいと思います。
00:44:15	はい。規制庁深見です。あと、9 ページでこれは、

00:44:19	9 ページの二つ目のポツの④番というのが、何か、
00:44:26	MOX の話で、何かこれが状態変化なのかっていう感じもしてですね、 とは言っても、10 ページにあって、その減衰を見直すきっかけにもなっ たんだということ
00:44:38	そういう意味では書いてあってもいいのか、我々もそういう頭を持ちな がらお話を、
00:44:48	MOX で 1 回その何だろう。
00:44:52	麒麟カーをそのまま使えばいいでしょうということ、否定されてです ね。
00:44:59	違う道を通ったんで、なんでまた同じ反省を
00:45:04	ベースにしてるんだらうってというのが、単純に気になっちゃった。
00:45:11	今、今この時点においての、やっぱ
00:45:15	いうことで受けとめていただければ
00:45:17	いうことではない。
00:45:20	やっぱり批判、
00:45:21	改善一つやっていくと。
00:45:24	大迫です。おっしゃる通りだと思っていてですね。
00:45:28	上出の言ったもう。
00:45:30	私も同じ意見。
00:45:32	結局第 1 回の反省をしてなかったってことだよなっていう思いが、結局 あるんですよ。
00:45:39	第 1 回るときに、第 2 回気をつけろよと。
00:45:43	同じ話になるぞということはさんざん会合でもお話を、わかってま すと。
00:45:52	言っていたのに、なんですよ緒方さん。
00:45:59	ていう、わかってますっていうのが、まさにそのねうん。
00:46:04	かかってて、やっぱりずれていた。
00:46:06	ていうところで、
00:46:08	そのベースに許認可が許認可基準から、
00:46:13	あってってということなんだと思っ
00:46:15	てますので、
00:46:18	そういった履き違いがないようにということで、Steering チームができ て、

00:46:23	ということですし、その点ではどう書くかはあれですけど、まさに反省事項の一番、
00:46:31	根幹にあるんだと思うんですね。
00:46:33	その点で
00:46:36	それがわかるようにできれば、整理されてるといいかなと思いますけど。
00:46:41	はい。
00:46:45	におけるです
00:46:46	以下の点だというので 123 は、
00:46:50	日本をこの世まるようにするのか、本部の中にちょっと取り組むのか、ちょっと少し考えて、
00:46:57	はい。
00:46:59	と言ってる状態は、
00:47:02	訴えではなくて、何回もそのチャンスがあるっていうところ、最後のチャンスは多分④番だったっていう
00:47:12	本文に取れるか、向こう 4 年残すのか
00:47:14	日本における表現はどうなのか。
00:47:23	規制庁紙ベースで、
00:47:25	あと、9 ページはそのぐらいで、
00:47:27	10 ページも、今の話に応じて少し変わるかもしれませんがというぐらいで、11 ページからが具体のたが今回貼り付けられてますけど、
00:47:41	11 ページで言うとなれですかね、文字がちょっと小さすぎて、必要なあこと必要じゃないことが、同じ文字の大きさだと思う。
00:47:52	です。
00:47:54	右上の図でいうと、
00:47:56	穴の名前とかっていうのは、読めたほうがいい、いいですよ。
00:48:01	とは言ってその下の標高みたいなものがある、あっても多分そういう話はしないで、
00:48:08	こここのねっていう話ができれば、
00:48:12	だから、それぐらいの、
00:48:17	中の
00:48:19	グラフの中の文字まではちょっと言わないですけど、外に出てるところぐらいは、はい。

00:48:26	直してもらった方が、ばっかり安くしてもらっていないデータは取る。
00:48:31	有感 G ですかね。
00:48:34	上下の図も、
00:48:37	うん、標高がもうちょっとおっきくするぐらいなのかな。
00:48:42	できる、できることとすれば、
00:48:44	この赤のちっちゃい。
00:48:47	ちっちゃい。
00:48:50	ノート半分菅田はい、これ。
00:48:53	もうあった方がいいですか。あった方がいいんだったら、
00:48:56	もうちょっとおっきくって感じ。
00:49:01	必要なデータ
00:49:03	見るべき。
00:49:07	後ろの方が最終的
00:49:15	に主要な
00:49:23	お願いします。
00:49:24	かっていう標高は他のところで、
00:49:26	並びで見れるので、そっちを潰して大きく、
00:49:30	どうしてもバージョンをするので、
00:49:32	お願いします。
00:49:34	難しくなります。
00:49:35	のところも、
00:49:39	はい。既設置を加味して、
00:49:42	次、12 ページは、
00:49:45	資料としては、
00:49:47	これっていうのも特にはないですが、
00:49:51	あとさっきもまとめのところで、
00:49:54	今後、A 以外については示しますと言って何か後送りになってるんですけど今回の説明範囲としては、
00:50:04	というか次回はまた閉、
00:50:08	次の会合では、またいろんな建屋を並べてみたいな感じをイメージしてる。
00:50:18	あれです。

00:50:23	良い日基づく、
00:50:24	はすべてのだけについても、お出ししますので、これについては、今回のご審議事項になると思ってます。だけっていうふうにさっき申し上げましたけども、
00:50:36	だ形しかお示しできないのは、最終形の営業5ページの地盤モデル、ちょっとこれだけはちょっと間に合わなくて、だけがお見せするような、
00:50:51	状態になっていますけれども、ここまでの4品のフィードプロセスはもうすべて同じになりますので、ある意味今後、15ページ、
00:51:01	のモデルっていうのは、ある意味その前のデータを見れば自然と出てくるようなことにはなります。なるべくけれども、今ここでお示ししないのでここを示します、いますのは、
00:51:14	15ページのこの地盤モデルそれから、もうその時にはその地盤モデルに基づく、アウトプットを、の分析と、いうことを踏まえ、いうことが次の段階にあるというふうに考えているというところでございます。
00:51:28	規制庁深見です。なので、ステップ1の中身としては一通りということであれば、代表で出すデータはまず
00:51:39	なんですと。
00:51:41	五つも他のものも、まず、
00:51:44	作業ができてるっていうことは、多分10ページぐらいに書くんですね、実績。
00:51:50	んとですね。
00:51:52	したものかなんですけれどもこの崩壊後資料と一緒に機能する指針として、浅部でお示した資料も、
00:52:02	もう一緒にちょっと積ませていただく形になってご審議いただくと。
00:52:06	というような形なのかなというふうには思っておりました。素行2の中には、すべての建屋のデータがございますので、そのうちの、こういう考え方でございますということがパワーポイントに、
00:52:19	入ってきてご説明してるっていうスタイルになるのかなというよう認識をしておりました。
00:52:25	日本原燃別府です。自体はそうなんですけども、今回打撃の15ページだけがだけなんで、他はすべてやってるというのを少しわかるようにしないと、
00:52:36	うん。

00:52:38	うん。ぶれがそういうのでそれを、
00:52:40	これ各ページ 1112 年書くのか、中で過去のちょっと考えさせてもらって、中で書いてしまった方が亡くなったなあ出荷石井君においでいただいて、10 ページ、確かに 1 ヶ月、10 ページが一番いいと思うんですけど、
00:52:55	10 ページ今回御説明本日ご説明入って、
00:52:58	基本地盤モデル作成の、
00:53:01	今、
00:53:03	いや、あの印象は全部答えがここで出てくる答えがないか。
00:53:08	何地盤モデル作成って言うてる答えが誰ですかって言って、
00:53:13	無理。
00:53:14	古作です。
00:53:16	何だろう、この四角の中に書くのではなくて、おそらくあれですよね中括弧の形になって抜き出せる ABCD の中でそれぞれ全部、
00:53:29	改定で、
00:53:31	何でしたっけ、C でした。
00:53:36	うん。まだ、しかかりなものがいてと、D は全部爾見では、ABCD はやっていてその上での基準、基本地盤モデルの作成が、
00:53:49	まだ時間ありそうです。
00:53:57	ここで意思表示をしとか、
00:54:01	状態で、
00:54:05	後は、
00:54:06	加藤。
00:54:07	学校、
00:54:27	白水儀間。
00:54:31	ちょっと那須数字の最高価格でごめんなさいあの中の話、数字を最後にかけて 8、
00:54:37	ただ同じ方法です。1 週間あるじゃん。
00:54:41	何かまどろっこしの。
00:54:48	はい。ちょっと中途半端。
00:54:51	同じ方法で、
00:54:54	今は結論まで、結果までは言えない、これからです。
00:54:59	15 ページの、

00:55:00	別冊フレア準備もそこにもう入るやったら、
00:55:05	Non 市両方やけども、
00:55:08	ちょっと検討しますけど、
00:55:12	はい、規制庁。
00:55:14	あとそうすると、12号、13ページ、13ページは
00:55:24	13ページは、下水だな。
00:55:28	何からいったらいい。
00:55:32	うん。
00:55:33	減衰
00:55:34	水ですねえ。
00:55:38	あれですか。
00:55:40	補足説明資料でS波検層の辺りとかは、一応やってたじゃないですか
00:55:46	会合資料には。
00:55:57	で、この
00:55:59	規制庁紙ですけどこのエスカー検層によると、2、3日別を見ると観測記録と、
00:56:05	整合的っていうと、結論的には何%ぐらいになりますよっていうことなんですか。日本原燃のはずで結論的にはこちらの地震観測記録を用いた評価結果と青枠で書いて、
00:56:17	中央 6.716, 3。
00:56:20	こちらの結果を松野江崎先生。
00:56:23	を支持するような、
00:56:24	そういうような記載。
00:56:28	規制庁。
00:56:30	どう言えばいい。
00:56:32	見方として今尾方が説明した、整合的っていうのができた抜きとして、これに、
00:56:41	問題にはない。
00:56:42	が、これ、
00:56:44	現存
00:56:45	が結果の、このグラフ見ていただくと、低周波数帯域ほど減衰要素が多くなる傾向というこういう、言いたいことを書いてございます。このですね、グラフ自体は、

00:56:57	下の横に見ていただいたらわかるように 20Hz までしか取れてません。この谷古瀬、頭打ちといいますか、衛藤打ち切りになってますんで、
00:57:07	今我々着目したいのは、左側の梶野市田評価結果の中にも書いてますけども建屋、建物構築物の保有振動数に 3Hz、できるだけここをターゲットに、
00:57:19	我々の検討は持っていきたいと思っているところ、このさあ件数は 20Hz までなんていうと、そうすると 20Hz の時に、これが 4%取れていて、
00:57:30	この上り調子でいってるという傾向を見れば、今このですね地震観測記録で、その 6%なりいいというような数字が出てるっていうのは、
00:57:41	この 20Hz のところで、4%というのと割と整合した結果ですねということ、これは申し上げているというところで窓口で申し上げられませんということでございます。
00:57:55	の資料だと何か 4%みたいな数字も書いてませんでした。
00:58:03	出そう、そういう話は特に入れず、この会合資料だと、傾向だけ。
00:58:10	という話なんですか。
00:58:12	日本原燃。
00:58:13	すいません
00:58:15	ヒアリング資料。
00:58:19	芦田出身。
00:58:20	なるほど。
00:58:23	講習は、
00:58:29	結構ね、
00:58:34	じゃない。
00:58:36	で、資料の趣旨としては、
00:58:38	結論としてはむしろここに書いている
00:58:42	のです。
00:58:48	その 4%がそのビルは相当の辺りあって、それが摘発するほど、おっきくなっていうことを踏まえると整合的でそこまで書かないで製造でひどいのが、読み取れないし、
00:59:01	それをもって、補足するんですよ。入ったんじゃないのかということをおっしゃってるんだとすると、ここにもそれがわかるように、の技術を

	ベースとした考え方っていうのは、次てしまった方が多分わかるように、
00:59:14	いうふうに思ったんですけどもすみせんご趣旨とらえてますでしょうか。規制庁深見です。
00:59:20	そういうことだったんだなっていうこともプラスしてそういう、そうだったって感じがしますけど。要は何、前から言ってますけど、ジャグの
00:59:31	一木初奈でいうと、
00:59:33	まずは、材料試験しましょうね、あとSからもありますねと。で、また書き程度地震観測記録との整合も見で見ましようか、見えます。
00:59:43	みたいな。
00:59:44	レベルだって絶えず登場人物三つについて欲しいなと思ってんですよ。
00:59:48	今んところ
00:59:51	左下のところ観測記録はあるし、材料試験もいるんだけど、エスカーのところが特に書かれないまま、
01:00:01	2015が出てきちゃってるっていうのが、一番説明のロジックとして違和感があると思う。
01:00:07	で、
01:00:08	1987に基づくと、
01:00:12	こういう傾向にありますという中で我々は度量。
01:00:18	採用するんだと、ほぼ今回あれですね、観測記録と言いつつ最後工場にするって言うてるんで、なんかそこもよくわからないんですけど。
01:00:27	でもそけっきょ
01:00:28	もうそう。
01:00:29	13 ページでこうバーを。
01:00:31	使えるっていうところまで多分言わないといけない。
01:00:35	ですよ、話と。
01:00:38	15 ページでいきなり 5% 出てくる話じゃない。なるほど。
01:00:43	13 でそこまで話をするっていうことなのかな。
01:00:47	こういう話であれば、
01:00:55	あとは
01:00:58	その右、
01:00:59	グラフさっきもさっき真ん中の、

01:01:02	表ですね 20Hz で読んでこれが結構なるからいいんです。
01:01:07	し、
01:01:09	側の赤線、黒線のところも我々は見てますっていうところはちゃんと
01:01:25	一つ目は無理かもしれないんでちょっと丁寧だけ。
01:01:30	分かれるのだったら、これは規制庁。
01:01:33	ページは、
01:01:38	規制庁羽ばたきです。ちょっと最後の 13 ページの、
01:01:42	パッチポチあるうちの、上のポチですね、これ結局、この文章残るんですか。
01:01:52	この文章を残すかどうかも含めてちょっと今あれですねずっとの対応も含めてわかりやすくちょっとしないといけないなどは認識しましたけれども、
01:02:06	上のポチに書いてある内容自体はどこかには残るかなというふうには思っております。
01:02:13	はい。規制庁の館です。
01:02:15	では富田が言ったように材料試験、それから地震観測、それと江沢検層からの減衰評価ということで、最後の S 波計。
01:02:25	検層からの話なんですけども、
01:02:28	定量的には、今このような話でもいいんですけども、
01:02:32	これに 3Hz を 1 かんがみると、整合的って書いてあるんですけども、
01:02:37	どう見ても、はるかに大きい数字になっちゃうような気がしましてですね。はい。だからそういう書くならもう少し定性的或いはもっと正確に確保、
01:02:48	用意してもらわないと、なんかちょっとこれ違和感もありますので、検討してください。
01:02:53	はい。関西電力の宇津でございますはい。承知いたしましたの整合的というふうに片付けれるかというところ、ちょっとすいません。配慮が足りなかったというふうに思います
01:03:03	読み取れるところからちょっと正確にいえるところという表現を、
01:03:08	少し考えます。ありがとうございます。
01:03:11	はい。室長浜辺さんお願いします。私から言います。
01:03:16	規制庁上出です。ちょっと中身でも、もう一度聞きますけどエスカー検層による同定って、こんな感じなんですかっていうのがあって、

01:03:26	20Hz までしか取れてませんよって言って、目指すところは 23Hz ですよ、と思うんでこれそのまま引っ張っていくと、減衰当然すごい大きくなっちゃうんで、
01:03:37	一般的に不
01:03:39	こんなやり方で、減衰だったら取ってんのかなって気がするんですけど、どういうやり方をしてるんですか。日本原燃の長瀬ですおっしゃる通りで、おっしゃる通りで、まず実態としての把握
01:03:49	につきましては今上出さんおっしゃった通りですんで、とのヒアリング資料の方にも書いているところ、あとは尾上さん検層による評価をやってルーム値のところなんか論文関係で読んでみますと、やっぱりこの S 波検層による評価というのは、いわゆる PS 検層的なところで叩いたりとかっていうそういう、
01:04:06	パルス的な信号のこう言って帰ってきてるところの減衰を見るっていうところがありまして、そもそもそのターゲットにする周波数がこの手法としての特徴として、もう数十から数百 Hz ぐらいのところのバンド幅に対して見るものっていうような、
01:04:19	そういう手法になっています。だから、そもそもとして、あんまりこの建物の評価として使うっていう意味では若干この建物の振動数に来たとあったところの評価になってるかということ、実はそうでもない
01:04:30	実はそういう意味では観測記録の方が、設計上は適しているこれはまた我々の判断ですけれども、そういった周波数特性の特徴っていうものを持っているところになっております。こういうふうの実態としてこう大きくなり過ぎていって、
01:04:42	ここで今上出さんしかり浜崎さんおっしゃっていたようにこの建物の周期であるところに 3Hz のところまで単純に伸ばしていったときに、果たしてそれがそのまま伸ばしていくと、今数字はちょっと適当に言いますが、例えば 70% みたいな世界。
01:04:57	までいくというところになるんですけども、そこについてはどうやって最後設定するかっていうのはこれあのサイトの特徴とかそれこそあとは他の会社さんでも地震観測記録の横で見て、その上で金頭打ちを決めてあげるとかそういった方法がとられているところでございますので、
01:05:12	必ずしもこの伊佐検層だけでやってそのまま斜めにまっすぐ延ばしていくっていうところで終わるといのはあんまり実は他の実績でも見たこ

	とがないというのが実情でございます。ですのでそういう意味でも地震観測記録を用いた評価で最後裏を取るというのは、
01:05:26	今回適切なやり方なのかなとちょっと思っている。
01:05:32	はい。規制庁神戸です。とりあえず周辺情報というか周りの情報としてはわかりました。
01:05:41	その辺はまた詳しくも確認しなきゃいけない。
01:05:45	次に 14 ページの表層はですね
01:05:52	まず
01:05:53	感触ダンショクっていうの分け方が非常にわかりにくい。
01:05:59	何とかありませんか。
01:06:03	赤黒でもいいし赤尾あとはもう点線破線でもいいんですけど、
01:06:09	さすがにこれ、
01:06:13	誰が、
01:06:16	赤と黒にして、あとは点線一点鎖線、2点鎖線とかいう
01:06:23	お見せする。
01:06:34	はい。規制庁岡部ですって。
01:06:37	ほぼ同等っていうのも、どう見てももっと変だったらほぼ同等だかっていうのは、
01:06:42	なかなかよくわからないなと思うんですけど何か説明できます。
01:06:47	今おっしゃってるのはそのプロセス技術管理官とらせてものがございます。
01:06:53	ここですね。はい。これはね、
01:06:55	つけない。
01:06:59	もしあれですと海峡書くとかですね、そういうふうな形で、わかるように、もう少し
01:07:15	実際に
01:07:23	そこを立ち数
01:07:35	ん対しては、
01:07:40	やったとして、
01:07:45	形
01:07:47	入り乱れてると。
01:07:49	いう様を、ちょっと
01:07:52	以上のこれが上、

01:07:55	ではある。
01:07:58	これ、
01:08:02	そうですね。
01:08:04	昨日、越智
01:08:06	た不足説明資料の中での、強度の方の分散とと見てもアウトプットで見ても、1999年境西井で、
01:08:18	変わってるものではないと見れるであろうと。
01:08:22	要はことではあるんですけどかなりもう事が吹き飛ばすが大きいのでどうしてもちょっとこういう言い方になったという嫌いはございます。
01:08:31	規制庁、上出です。
01:08:34	ばらつきは多少なり、
01:08:36	当然あると思っていて、土なんで当然ばらつくでしょうっていう。
01:08:42	ので、
01:08:42	それーのためにプラマイワンシグマみたいな
01:08:46	やってるわけじゃないですか。だからその中にこう落ち着くんですよみたいな話だと、そうなのねって感じもするんですけど。
01:08:55	なんかそういうこともなく、何か真ん中の埋め戻し用途の真ん中んところはもう、倉林熊野線があって、入れているものもいっぱいありますけど、
01:09:04	何かそういう説明できないのかなと。
01:09:21	VS
01:09:25	ROV
01:09:47	よくあります。はい。
01:09:52	あと、
01:09:52	こないだヒアリングでもお話しましたが、は、割と表層直下と、平均、
01:10:00	そんな差がなかった。
01:10:03	DCとかだと結構
01:10:05	山谷ずれるぐらい。
01:10:07	違いがあったりものによってまちまちっていうところ。
01:10:12	その辺は、
01:10:14	こう考えているから平均
01:10:18	というような説明ってないんですか。

01:10:21	加藤。
01:10:22	母のあれですね考察でちょっと我々もこの頭ポイントの中に入れるか入れないか、迷いながら今ちょっと作りかけておったようなところでは、
01:10:34	あるんですけども、少なくとももう少し、
01:10:37	落としているところで、
01:10:40	60、
01:10:45	うん。
01:10:46	とで、
01:10:48	全部の建屋についてちょっとご説明するのも状況だしというのでちょっと
01:10:53	ちょっと強化してはしまったんですけども、大きいものを代表で、御説明っていうのはあそこはこれ入れることができるのかなと。
01:11:04	規制庁神です。一つは今回代表例として出しているから、のグラフをとりあえずここには入れておきつつ、
01:11:16	どうなってんのっていうことは、補足説明のページを見ても、
01:11:23	その A のグラフをここに、
01:11:26	貼るにしても、この建屋は一致してるけど一部そうではないものもありましてそれについては僕達こういうふうな考えで、
01:11:36	平均
01:11:37	ぐらい書いておけば
01:11:39	議論
01:11:42	をして、
01:11:51	重みが違うと思う。
01:11:52	2 ページには、
01:11:54	今言った現在ません。
01:12:00	はい。規制庁神です。
01:12:02	あとは、14 はそれぐらいで、
01:12:05	15 ページも、北尾浜崎です。すいません 14 ページで、右下に、流動化処理等の所、事前の都合でてるんですけども、
01:12:17	ホームページ全体の中で流動化処理は、ちょっと唐突感があるんですけども、
01:12:22	これで何を説明したいのか、ちょっと説明してもらいたい。

01:12:26	関西電力の方でございます。えっとですね、このシート自体は、中とか処理移動も含めた表層地盤の、
01:12:36	設定について記載してるつもりでございましてそういう意味ではですね、すみませんちょっと今、気がついたんですけれども、一番最初の一般的標準的な表に基づく線のところで梅本志田の選定、
01:12:49	ですけれども、これ間違うと、
01:12:53	両方の
01:13:04	施工プロセス品質管理を確認
01:13:06	で
01:13:15	右下の G0 は
01:13:18	を書いているというところなんで、
01:13:21	その
01:13:26	コウソク
01:13:31	を落とし材料であろうが
01:13:34	飯田。
01:13:43	首藤です。はい。はい。磯。
01:13:49	近江伊佐で、
01:13:58	はい。修文の方お願いします。以上です。
01:14:03	規制庁深見です。私からは 15 ページは、特にないです 46 ページは最初に話をした通り今後の対応をちゃんと書いて、
01:14:14	地盤のついては私の方から以上です。
01:14:22	規制庁の岸野です。
01:14:24	ちょっと見せ方だけの話かもしれませんが、14 ページの今願っている、
01:14:30	縦軸が
01:14:34	新
01:14:36	診療科です。
01:14:38	全部た知久新保なんですけど、
01:14:40	何かそれ全部スケールが誰かっていうか、
01:14:46	もっといい記録 20 メーター、データが 1 個も収まっている。
01:14:53	すいません、出野でございます。流動化処理の縦軸をわざわざ 50 まで延ばさずとも二重でそろえればいいじゃないかっていうそういう
01:15:02	ネット利用場所、
01:15:06	大井終わります。

01:15:10	大丈夫。
01:15:11	20にそろえるわけ。
01:15:13	もうバラバラにするって何かいい。
01:15:16	兼田。
01:15:19	すいません。
01:15:23	はい。比較収束にする。
01:15:27	ご検討いただき、
01:15:31	秋田土岐
01:15:33	15ページなんですけども、これもちょっと文章だけ
01:15:37	経費C、Dと表にありますけど、米国ですね。
01:15:43	人口税力、
01:15:45	知久堤と、その下の方に活用
01:15:48	うち面白い依存性。
01:16:05	風のございます。
01:16:06	使う
01:16:08	いらんような、いらんですね。すいませんここをダブってる
01:16:12	修正され、
01:16:16	あ、そうですよね。なんか、上の括弧の中は確かに、
01:16:20	うん。重複してるような感じがしましたのはい、端的に修正いただければと。
01:16:25	私から以上。
01:16:28	規制庁の他、
01:16:38	今日でですね。
01:16:39	右側に1万円、減衰定数、縦軸、
01:16:44	と、バツとか0、
01:16:46	影がありまして、Q値が消えて、
01:16:51	同意
01:16:54	目は、
01:16:56	ある方がいいと。
01:17:16	集中力、横山で、
01:17:25	減れば、
01:17:30	はい、乳井西山でございます。
01:17:33	でございます。

01:17:35	元指摘あった 19 ページ、向こうは、
01:17:41	今回説明する事項。
01:17:47	で、20 ページ。
01:17:50	うん。
01:17:52	ルール。
01:17:53	ちょっとすいません実態や修正。
01:17:57	20 ページですけどもうすみません非常に苦しい見ながら会見。
01:18:05	2-1 の話、まず MOX を
01:18:10	まず先頭バッテリーでやりますってのは 4 月の会合ですすでに話をしていることです。それから 2 ヶ月だって何が進んだのかというところでございまして、まずはどういうふうな資料で、どう説明していくかというやり方。あとは、
01:18:24	そのときに気をつけなきゃいけない、どういうまとまりでグルーピングしてやっていくんだというところの検討を進めているんだということ、それは、ちょっと 20 ページのところ、4 ポツ目をもうちょっと明確に切り換えないといけないですけどボックスでセット走ってはいるけども最初のことも考えてやんなきゃいけないと。
01:18:42	ということが念頭にありますよということ。
01:18:45	20 ページのところの下から 3 番目のポツは MOX でじゃあどう考えるのかっていうところについては、これまでまずは設備の構造とか、これ新規でまずやるんだということを念頭に置いた時に設備の構造等を考えた上でグルーピングをまずするんだということ
01:19:01	あとプラスその要求書事項が何が習熟しなのかということを考えて種々考えた上で全体が網羅的にできるようにするという事。
01:19:11	あとは
01:19:12	関連条文での要求も踏まえて、1 年のまず説明を完結させるということ意識して、説明の単位ってものを考えていかないといけないってことを今考えてますよってことを書いて、
01:19:26	そこが蒲生碓井の話で最初については、もう最後の下から 4 番目のポツ 1 回通り最初に鳥羽井手たかということ変更点を認識、意識した上で説明ポイント、
01:19:37	変えなきゃいけないんで、

01:19:39	まずは新規制基準の要求で何が変わったのかということからすると外的 内的みたいな要求事項
01:19:46	という。
01:19:58	同士の要求事項は、
01:20:01	今現状非常に弱いと思ってるのがこの最初のところの記載が余りにもは です、具体性がないので、ここは審査会合にもうちょっとちゃんとグ ルーピングの考え方も含めて書きたいと思います。はい。
01:20:13	あとはまた城所が最初に特有っていう時には改造だけみたいなものがある 場合にはそれをどう説明するかという考え。
01:20:20	これはもう国では、どうしようもないのでそこは最終の考えるということ を言っています。
01:20:27	今後ろにつけてますのがもう国でどう考えて設計を
01:20:36	観点で17分類をしましたと。
01:20:38	この17号と説明していくか、
01:20:43	主要な設備であるなんて言えばグローブボックスですというのがまず出 てきてグローブボックスに対しては市場間閉じ込めだと。
01:20:50	じゃあグローブボックスの設計を1年完結させようと思ったときに、ど ういうことをつなぐ、一緒に説明していかなきゃいけないのかっていう ので、閉じ込めの設計の系統設計って言えば換気設備が対になる。
01:21:02	グローブボックスの閉じ込め面を関係するときに説明をセットにしないと、 設計が完結しないもので中には、1回設備搬送装置っていうので内 装器ですね。
01:21:13	これがあると。
01:21:15	内装機器の一部としてはやはり、旧のバックフィット棚みたいのも、内 装機器としてはあるのでこれらを、
01:21:20	あわせて説明することで、グローブ、まずはグローボックスの説明を1 年完結させるということを書いて、
01:21:28	それを考えたときに、22ページに、説明の順番をどうしましょうかとい うことでグローボックスチームをまず最初にありますようなんですが 今の、
01:21:37	1369 ですかね、これを基軸にして一つのグルーピングを考えた。

01:21:42	これはもうちょっと練りますけど、ここで線を引いているのは関連条文にいます。これが、以前もあった一緒に最初に説明書等は余りにもボリュームが多いので、
01:21:54	これをどこで説明するのが一番適切なのかっていうのを考えて、
01:21:58	種を張れるものとセットで後ろ側で説明した方が説明が完結するんじゃないかというのが関連条文として挙げるけども中身は後で説明しますみたいなので整理をしております。なので、
01:22:10	1番目のグループでは下線を向いたものが、説明対象、具体的な設計としては説明対象になって資料、具体的な資料には全部上げるんだけども、資料2では、
01:22:21	資料3の部隊は、何とかどここのグループでセットで説明します三上が説明の仕方を工夫したいな。
01:22:28	もうちょっと空間が頑張るって具体化しますと思っているのが22ページの下に書いてるちょっと字がちっちゃいでも不足しますけど、
01:22:36	何で後ろに飛ばせるのかっていう説明をもうちょっとちゃんとしないと、何で飛ばせるんだかって話になるんで、ちょっとそこを工夫しないといかん。
01:22:46	はい。
01:22:48	CTU 例えばですけど椅子みたいなものは、
01:22:52	機能喪失高さを設定しますみたいなものしかないんだったらそれはもう1年まとめて設計してもいいでしょってするので、頭で一生懸命やんなくてもいいよねってところも含めて、どこでまとめるかっていうのを意識して整理をさせていただいたと。
01:23:05	そうすって説明の単位としては22ページが1個目のグループ22ページ、23ページで、二つ目閉じ込めをまず関係させるっていうと23ページの2番目のグループが来て、
01:23:16	次河西外相関係をセットで終わらせようと思っと、3番目のチーム。
01:23:22	D24が、その他にやってますけど4番目のチームで最後重大事故が残るみたいなの。
01:23:27	イメージです。
01:23:28	というような、ちょっとグルーピングを今考えていますこれも、木曜日に今後の進め方が続きも含めて、もうちょっとブラッシュアップして整理していきますということです。

01:23:39	あとは 24 ページの重大事故のところはすいません※を付して、MOX で限定的な設備なので、まず仮で、
01:23:47	重大事故対処設備と置いてますけど最初の整理も踏まえて、今後ちゃんとやっていきます。助教※書きで書かさせていただいている。
01:23:54	ということです。
01:23:56	はい。
01:23:57	説明の仕方なり、今、一生懸命考えていいと思うんですけどオウンゴーイングの状態がなるべくわかるように、
01:24:04	審査会の中にも入れさせていただいたということでございました。
01:24:10	はい。
01:24:12	20、3 番は以上でございます。はい。
01:24:18	ちょっと 20 ページが字が多いので、2 ページに分けるかどうかですけど、
01:24:27	はい。規制庁の勝井です。幾つか確認でまず 20 ページなんですけど、先ほどコード説明させてここにも簡単には書いてあるんですけど、再処理と MOX の差分で口頭で補う感じですかね分類の受け方の差分が書いてあるんですけど再処理と MOX で何で分類の考え方変えるかっていうところをろうの考えは、
01:24:46	下に書いてないような気がするんですけど、表現にしてございます。今あっさり 20 ページの真ん中に
01:24:54	こういう観点でと書いてますねこれのまず 1 ページの落ち込み過ぎたので 2 ページを開けるときにもうちょっと、真ん中のポツの記載は増やそうと思います。はい。
01:25:08	はい、谷です何でこの新規設備を設計するっていうのと受けた変更と説明ポイントするっていうところで表しているんだと思うんですけど、わかって、1 件発生。
01:25:18	聞いてればわかるんですけど
01:25:20	あれだとなかなかわかりづらいんじゃないかなって気がするので、
01:25:23	いただけると、はい。
01:25:25	ありがとうございます
01:25:29	はい、滝井です。あとなんですけど、20 ページというか今回の説明最後の説明の位置付けなんですけど、今状況としては目次のとりこ
01:25:39	だー

01:25:40	形の整理を進めているだけで2-1の下の説明っていうのはほとんど聞いてない状況だと思っていて構造設計どう説明するかっていうところは一応資料としては後ろにつけ始めてはいるんですけど具体的に議論までまだ入れてないところだと思っていて、
01:25:54	何が終わって何が終わって何かこの2-1においてっていうところをはっきりしておきたいかなと思ってんですけど、これって言うんだとなんかMOXに関してはある程度なんか終わってる雰囲気でも取ろうと思ったら取れるような気がしているんですけどそこは認識の違いはないですよ。
01:26:09	困っていると思ってません月例でございます。
01:26:12	はい。そういう意味ではいい。多分私が20ページの記載を、
01:26:18	終わっているところが終わってないのか非常に曖昧な語尾で終わらせた方が原因だと思います全部を行為なので、そういうことを今やっていますという形で、明確にさせていただければと思
01:26:31	ます。
01:26:34	はい、多田ですあくまで今回の会合は再編でも1回失敗してってのはよくないかもしれないけど、説明できなくてでもくそ代表例にやってみました。分類の考え方のところでさっきのパッケージでどこの際に説明していくべきかとかっていう考え方を整理しましたよっていうところが成果物であって、
01:26:51	ものとして終わったかっていうと、再スタート及び切れるんです雰囲気の方がまだいいかなと思うんですそうしないと何終わったんだっけって感じになるし、耐震の方で家を作るのかって話ありましたけど後に何か今資料がつくわけでも、MOX何もないので、
01:27:05	あくまで方針かなというふうに思っているんで、よろしく願います。
01:27:09	はい。人間の石田でございます。はい。安藤主務。
01:27:18	はい、谷です。あと、先ほど再処理を補うという話はあったんですけど、どこまで説明されますかね。今の記載は少ないなと思、何か決まってるかっていうと何も説明できる。
01:27:32	できるかなと悩ましいなと思ってたんですけど。はい、西平でございます。はい。

01:27:43	少なくとも目標、B、D 出す言語の進め方共通でそもそも示されていないので、
01:27:57	要は、
01:27:58	お示しをしたいと思います。少なくとも図研で示せる
01:28:02	か。
01:28:03	娘じゃないので
01:28:04	そこはある。
01:28:05	刺繍させて
01:28:11	いった G です先ほどお伝えしましたが、何ができてまだ何ができてないのかっていうところをはっきりさせておくことが重要かなというふうに思ってるんでよろしくお願いします。
01:28:20	21 ページ以降の表に入ると何かいっぱい出てきそうなんで 20 ページに関して他の方あれば先お願いします。
01:28:28	藪です。今の話でいうと、ちょっと
01:28:32	進め方費がかかってきますけど、
01:28:37	骨格は今週末、進め方の日の、
01:28:43	ところで
01:28:45	もともとする重大事故等対象だったり、溢水だったり、アイスじゃない竜巻か。
01:28:53	よう関係で、今どういう状況なのか、っていうようなことはお話いただくことになって、
01:28:59	て言って、
01:29:01	その話はするんですが、今の点でいうと再処理の
01:29:06	整理、
01:29:08	の、
01:29:09	考えというのも、
01:29:12	同じように、
01:29:14	話を聞くということと認識をしましたが、
01:29:22	その点は本来であれば共通 12 ということ。
01:29:26	だと思っんですけどその資料提示は、
01:29:30	先週の資料だと、
01:29:36	14、
01:29:37	ほかに共通 12 ってなってるんですけど、

01:29:41	市、
01:29:44	それは、
01:29:46	どう、どういうもん。
01:29:48	のというつもりで今 14 日の提出は今というか、世襲ケース、
01:29:55	書いてあんですよ。10 億っていうか、
01:29:59	うん。
01:30:00	いえ。
01:30:01	それももう間に合っていない。
01:30:06	ということも含めてもともとからして、かなりズレズレになっている状況を認識した上で、今後の進め方をちょっと無理くり活用させていただいている状況です。はい。
01:30:19	今ちょっとつけ方の話になっちゃいますけど
01:30:23	16 人の増としたものとはいえ、そんなに遅れない程度に提出したいと思ってますけど今耐震側の条文の整理に記載のを今やってまして、
01:30:34	若干まだ時間がある、あるかなと。
01:30:46	はい、細田です状況はわかりました。自体はまた金曜日に進め方出していただき、
01:30:57	進められそのときにいただきて、領収以降どう進むのかっていうところも確認をしていく。
01:31:25	谷さんどうぞ。特に発言は多分あまり。
01:31:30	はないんですけど期
01:31:32	古作です、
01:31:35	その次のしようとかの関係なんですけど、
01:31:41	21 ページは
01:31:45	20 ページの文面の概略を示していただいているんだと思うんで、
01:31:51	ないんですけど、22 ページ、
01:31:55	表の下 d ん細々と言われているんですけど、
01:32:02	この
01:32:03	個別具体が一、この場で知りたいことではなくて、
01:32:08	す、その関連性とかを、
01:32:12	どう、

01:32:14	進めていくのかっていうポイントが大事なんだと思うんで、これも 20 ページには書いてあってっていうの具体を示すと、ということからすると、
01:32:25	その具体だよってということがわかるように吹き出しなり何なりで明確にさせていただくっていう方が大事かなと。この下に細々書いてある内容ではないということだと思うんで、
01:32:37	その点で整理いただきたいということ取って、それでいうとですね関連条文のアンダーを、
01:32:46	その後ろに、
01:32:48	ゆだねる法案だ低いのがいいのかどうかとかっていうのもちょっとよくわからなくてですね。
01:33:03	やはり、もう 1 列入れて、
01:33:06	それぞれの条文がここで説明するということなのか、次のどこの項目で説明することになっている条文なのかっていうような、
01:33:16	マーキングをしていただくのがわかりやすいのかなというふうな形で聞いてもいます。
01:33:26	はい。
01:33:27	新美西田でございます。はい、ありがとうございます。またおっしゃっていただいて、どういうことを考え方。
01:33:34	続けて、
01:33:38	に、
01:33:38	第 1、そのグループで説明する中、ほかに。
01:33:42	いうのがわかるように
01:33:53	古作です。それ
01:33:56	ちょっと進め方ヒアリング。
01:33:59	けど、
01:34:00	まずはグローブボックスの関連するところ
01:34:06	があるように
01:34:09	項目 36 みたいな、入っていきます。
01:34:13	ということなのは、
01:34:17	前回の話を踏まえて、
01:34:21	その次が閉じ込めの条文残り分ですっていうのは、これでいい。

01:34:31	はい、弓削西浦でございます。正直ですね、第2回のこの申請対象で名義を張ってる人がいるかというのと、
01:34:41	らいグループにいません。
01:34:44	えっと、基本的にはさんかなと思ってますね。
01:34:49	なので2と3の順番は、どういう順番で片付けていくかっていうところを、どう整理するかという、ためにシナリオの問題かなと思ってますんで、それ
01:35:00	逆に言うと3番をやろうと思えば一面、1番目のグループでの換気設備なりが終わってれば、評価との関連を説明できるので、13と始めても全然問題はないか。
01:35:12	そこはちょっともうちょっと工夫を考えたいと。
01:35:15	はい。
01:35:16	はい。
01:35:17	そうです。
01:35:19	そう。
01:35:20	じゃないかなと思っていて、
01:35:23	というのもう、モック数先行になってますけど、
01:35:29	何かっていうと論点あまりなく、や、やるべきことが特定できるということで、先頭バッターになっているので、
01:35:39	そちらの方の間、1条文の完成に固執をすると。
01:35:46	特に3の火災外部衝撃ってところは非常に広範で、
01:35:52	最初の方でも対応に時間がかかり得るものなんで、
01:35:58	それが遅くなるっていうのは、全体としてここでも追加でやんなきゃいけないことが特定されると。
01:36:07	どんどんと後ろ倒しになっていっちゃうということが想像。
01:36:12	はい。
01:36:15	そういう意味でも優先順位を多分しといた方がいいかなというふうに思います。
01:36:20	今の
01:36:21	これでいうと、
01:36:23	と事故メイン先頭でって言う意味っていうところを踏まえて、
01:36:29	今回模式図も変えるのであればそこ、
01:36:34	構造設計の説明としては、基本の考えの、

01:36:38	その進め方としてこういうふうに、
01:36:41	関連条文前と整理しましたというふうに言っていたら、
01:36:45	はい。
01:36:46	はい。整理をお願いします。
01:37:01	古作です。あとはす。
01:37:04	最後の重大事項関係と、
01:37:08	いう際、
01:37:10	というところですけどこれ
01:37:15	等、
01:37:19	※書きで、再処理で先行して進めて書いてあるんですけどその再処理がないと、いうことで、
01:37:26	先方するってことはこのどっかに再処理が入り込むってことだよなって、
01:37:32	そうするとどこでどうっていうふうになるので、
01:37:38	その点もできれば何らかそんで 20 ページのところ再処理でっていうような、
01:37:45	にも分類の話かもしれませんが、進め方にも関連する
01:37:51	少し気にして対応いただければと思います部隊はまた金曜日の
01:37:59	ところで話をしてるかと思うんですけど。
01:38:03	どう言っても会合は火曜日です。
01:38:08	月曜日 2 早目には、
01:38:15	解剖医の資料とさせていただくと。
01:38:19	ということからすると、
01:38:24	何らか、
01:38:25	計画ワースンされて入れ込めるものなのか。
01:38:30	とてもじゃないけどっていうことなのかによってなんですけどどんな感じですか。
01:38:34	はい。西田でございます。現状からいきますと 20 ページのところは結果として目視はこういう順番でっていうのですべてそこに、
01:38:44	再処理をどういうふうにはめ込んでいくかという概念は説明できると思います。あくまでそのぐらいの世界かなと。はい。
01:38:54	はい、古作です。わかりました。何らか触れられるということなのでそれで入れていただいて、

01:38:59	確認していければと。
01:39:02	ます。
01:39:03	私から最後ですけど、ちょっと順番逆になりましたが24ページの4番。
01:39:11	これがその4番として、何かまとまりがあるのかっていうのがいまいちよくわかんないんですけど。
01:39:19	これはどういう趣旨です。
01:39:21	はい、弓削西原でございます。はい。
01:39:25	正直先ほど説明を、123は趣旨をもって説明して4は残りです。はい。説明の通りです。
01:39:34	1314、15はそれぞれ品でも成立しちゃうものなので、はい。14%特に前の方から順番に遮へいを降りてきて、ここでまとめてやるって意味ですし、
01:39:45	13番も警報としては今回特に
01:39:48	グローボックスとか中に入ってる液受け皿の検知系だけですので、あんまりメインなものでもないの
01:39:59	古作です。わかりました。そうする等、
01:40:03	これ4番と5番の順番も本当は安くて、
01:40:07	再処理の整理がつけば、5番はその償還との関係もあるので本当は、
01:40:15	3番と。
01:40:18	あまりそのずれない。
01:40:20	説明をしたいという。
01:40:22	ことになるんじゃないかな。
01:40:25	思うので、
01:40:26	評価が4、3回の申請が、
01:40:35	どちらか前回のダンパーというところ。
01:40:39	この順番は考えてない。
01:40:42	はい。補足です。ワープありました。
01:40:47	いずれにしても再処理との内部関係ということで4番5番は、
01:40:53	あるんだらうなというふうに認識をしましたので、次回の断面では、その点も何らか触れられる。
01:41:00	それを踏まえて、
01:41:02	いきたい。

01:41:07	はい、仁科です。承知いたしました。
01:41:12	あ、田口です。表に関して若干
01:41:16	残念でもないか。
01:41:17	葛西。
01:41:20	坂内さんの説明
01:41:21	火災爆発って発生防止感知消火影響軽減という形で、割と大きくは、
01:41:28	後ろの方は、
01:41:29	使用とかで括弧書きついたり
01:41:31	前段部分、
01:41:32	含むというふうに言ってるのか
01:41:35	割り込ん
01:41:36	か。
01:41:37	大抵は、
01:41:38	今回何まで説明しようとしているのか
01:41:43	それによって、
01:41:45	はい。
01:41:46	対応。
01:41:47	ですんで、何
01:41:55	杯よろしくお願いします。
01:41:57	はい。
01:41:58	うちではなくでしょ。
01:42:00	欠席です。
01:42:08	はい。
01:42:10	特に、
01:42:11	何か種類があるものじゃないのでまとめてっていう形でいいと思うんですけど、一応整理としては後で節
01:42:18	ですよ。
01:42:23	古作です。田尻さんの音声が今ちょっと切れちゃった。
01:42:27	ので、
01:42:29	ちょっと復旧を試みていただきつつ間で、今の関係からちょっと確認なんですけど、確認というかですね、MOX 和田文化通なの
01:42:41	次回申請分は説明から外れるということがあって条文意識ってにならないので、

01:42:49	その点についてワー天野期間中だけじゃなくてです。
01:42:55	ファイアと思います。
01:43:04	先ほども出て追加する。
01:43:17	対象が、
01:43:19	第2回です。
01:43:21	ありますけどわかり
01:43:22	ません。
01:43:26	田尻さん大丈夫ですお願いします
01:43:34	谷さんは清加賀です。
01:43:36	発言していただいて大丈夫です。
01:43:39	聞こえますか。
01:43:40	はい大丈夫です。
01:43:42	すいません。御静聴集落て申し訳ないっす一応課題に関して除去があったので後のやつとか、どっかでまとめて説明するっちゅうとフォローではあるとは思っているので、
01:43:54	何も説明してるのが特に目視に関しては今回の申請で全部っちゅうわけじゃないのでその辺りははっきりさせながら進めたいと思ってるのでよろしくお願いします。与儀石田でございます承知いたしました。
01:44:06	すいません。もう1点、
01:44:09	確認なんですけど今回、
01:44:11	パイプ衝撃の話が書かれる形になってるんですけど、一応大越としては、第1回のタイミングで建物について説明していて、今回、外部事象ってところが1人いれ形が今回意識説明できる形になるので、ほぼ意識皆無事象が今回で終わると思って切りしたっけ。
01:44:28	はい、与儀西尾でございます。おっしゃっていただけてる通りだと思っ てます22ページの3番の換気と、三つ目のグループの15番、その他の 換気系これ外気取入口の関係が終わりますので、
01:44:42	これで全体かなと思ってました。はい。
01:44:47	はいポジションありました。当然、自分からとりあえず以上ですね。
01:44:53	です。
01:44:54	さらには、
01:44:55	できなかった
01:44:57	そう。

01:44:58	うん。
01:44:59	やっぱり MOX と再処理の関係ってというのが非常に大事で、MOX でやっても結局歯抜けじゃねえかってなると、
01:45:08	再処理で全体を拾うのにもう一度見なきゃいけないみたいになるので、
01:45:13	そうする等、
01:45:15	最初に多くの部分やった方がいいんじゃないっていう気もするんですね。
01:45:20	なので、
01:45:22	その一番、
01:45:24	のところでの議論をしていった上で、その後どうするかっていうのは、
01:45:30	資料検討事項かなという気はするんで、また整理をしていただいて、金曜日、
01:45:35	話をしつつ、
01:45:40	したい。
01:45:41	はい、乳井市田でございます。ありがとうございます。はい。おっしゃっていただいているさっきの外。
01:45:47	気象なんかはどちらかというところと1回頭の合わせ技で全部が終わるということなのでそちらよりも、溢水とかですね、火災、これが全体をカバーできてるわけじゃないので、これは逆に言ったら、
01:45:58	もくせ先走ったところで全部が終わらないので、再処理を先に走らせてそれを見ながらすごい、と入れていくという考えもあるかなと思います。そこも含めて全体を整理していければと思いました。はい。
01:46:17	規制庁横山です。3ポツについて他に規制庁から確認ある方はいらっしゃいますでしょうか。
01:46:30	なければこちらの資料確認以上になりますけれども振り返りについては、まとめの時間とかは、
01:46:37	どうでしょう。
01:46:38	はい。ちょっといい。どうぞ。はい。
01:46:41	生協の長谷川ですけれども。
01:46:44	みさしてもらっても、
01:46:47	もういろいろ出たと。はい。ちょっと後から来たんで、確認だけなんですけど、戸高4ページと5ページと9ページを、
01:46:57	この3ページだけに限って、

01:46:59	確認さしてもらおうと。
01:47:01	何か国語的に変なもの
01:47:05	4 ページね。
01:47:06	4 ページは、多分言いたいことはまず最初の丸と次の丸は一緒に、
01:47:12	す。
01:47:13	なんか、
01:47:16	進出、十分に整ってない状態でやったのは、どこの背景にはこういうのが推察されますというのが、
01:47:23	なんか一緒のような気がするんで次一方っていうのは、何か全然繋がりがあって、この何か接続詞というかあれば、
01:47:33	次は、次は多分
01:47:35	ね、また施設の維持管理でもこんな
01:47:38	顕在化してるんだ、そうすると大きく二つの
01:47:41	問題が、
01:47:43	あるんですよみたいな。それで、多分、次の四つ目の丸が、上記に関して原子力規制委員会とのやりとりで、こんな意見をいただいたっていうそういうことなんじゃないかなと。
01:47:58	で、
01:47:59	その次が
01:48:01	こういうふうに自分たちで考えましたっていうそんなふうな方が、
01:48:06	なんじゃないかなと。
01:48:13	悪い気がするんだけど、言いたい。
01:48:18	5 ページメインなんだけど、
01:48:21	ページ目もこれ 2 市 6 羅列されてるんだけど、
01:48:25	ちょっとずつ違うんだよね。
01:48:28	多分最初は、まず、これ何で Steering チームかっていうのがないまま、
01:48:35	言ってるんで今度多分 4 ページの、
01:48:38	結果として、
01:48:43	も改善するようは少なくともこの最初のですね施行については、それを改善するために電力の支援をして、Steering チーム
01:48:54	による体制を整えましたっていうのが 1 個あって、そういう鉄ギイ 2a と Steering チームの成果が、
01:49:04	残り半分だよ。

01:49:07	ですってチームの成果としてまずやったことが許可との関係を踏まえて、実態を把握しました。
01:49:14	という把握した結果が、その次の三分なんじゃないの。はい。
01:49:22	要はチームの成果だね。はい。
01:49:25	チームの実態を把握した、して、どうすべきだという、
01:49:30	方向性がチームの成果としてまず問題が何かあったと認識しましたと。
01:49:36	ていうのと、
01:49:39	客観的でちゃんと技術的に骨子策定して、果たさないといけないっていう、そういうことで、次の
01:49:48	さらにはそのあるべきなんだから見せて人材育成というのはこういうことが重要だというのが、まずチームとしてそういう見解に至ったんじゃないの。
01:49:59	そして残り二つが、その見解を踏まえた実践点ね、実践活動の、まずは1例として入力地震動の話があって、さらにはこういう次の、
01:50:11	ですみたいな、そういう流れ。
01:50:14	なんじゃないかなと思いますが、はい。
01:50:17	はい、網下におけるですねそういう説明をしたい。はい。はいこともおっしゃっていただいて、
01:50:24	それともうちょっと、これを少しわかりやすく、
01:50:29	した方がただ羅列だとちょっとわかりにくいよねっていう
01:50:34	宇津木切って、何で9頁かって言ったら、具体的な反省と改善がP9に示すので、P9 見てみましょうと。はい。
01:50:43	いうことなんだけど、そうするとP9にいくと、
01:50:47	まず、
01:50:49	上とちょっと違ってきちゃって、いきなりこんななってるんだけど、目標達成の意識が何だでていうのが4ページ目に書いてあったよね。
01:51:01	医師。
01:51:02	強く意識した業務の推移。
01:51:04	こいつがどこにも出てこなくなっちゃってるんだけどここにもあったんじゃないの。
01:51:17	要するに、

01:51:19	先入観があったのはこれはもう事実だと思うんだけどその他に、この目標達成の意思要するに、工程、優先的にだからこの先入観だけで、
01:51:32	急いでるからもう、もうそれでいいやみたいにしたっていう、古作です ことそれはそうなんですけど、あまりそこから立ち戻って、9ページに 説明すると言ってしまうのがないなという気もした場合、もうそれは な。なので、どこで線を引くかっていうのを明確にさせていただいて、
01:51:51	別に9ページに振るものっていうのを、5ページのところあたり、明確 にされるということが大事かなというふうに思いますので、一方です ね、9ページに書いてあるその先入観があってみたいなやつが、
01:52:05	5ページが2名ないというのが、
01:52:07	ちょっとよくないなという気もするんです。
01:52:10	なんで
01:52:12	まさに例として、先ほども話したんですけど、
01:52:16	9ページの話っていうのは、この全体の例としてとても
01:52:20	わかりやすいというか、具体として、お互いが経験した本なんで、それ の上流から下流まで見見渡して、それを5ページと9ページで、それぞ れ明確にわかるようにと。
01:52:35	いうことにして
01:52:37	整理をしてもらうということかと、多分、重要なのは4ページで、
01:52:43	達成を強く意識した業務遂行もそうだし、
01:52:48	それと、やっぱり客観的な視点に基づいた考察っていうか、検討がされ てないっていうのも、本当は本質的にはあるんじゃないのとは思うけど そこは任せますけど古作です。
01:53:02	それぞれの。
01:53:04	背景として、うん、先入観があったと。
01:53:07	ていうことの関係性。
01:53:10	何そこは
01:53:19	ってなんだよね。
01:53:21	場所は和気じゃこれはいいな。
01:53:24	で、今後の対応っていうところも、
01:53:27	検討にあたっては
01:53:29	ベースだから
01:53:30	出野な

01:53:32	もうどうでもいいんだよね。
01:53:35	いやフラットに、客観的な視点で、
01:53:40	ここまでポツが実は連続してるのよ。でも、切れちゃってるから設定するっていうと、本当はおかしくて、多分設定して、企画を行うんだけど、
01:53:50	この最後のポツがちょっとよくわからないんだけど、古作です。これも部分的に書き換えることにしてます。同じになっちゃう。同じ声ください。
01:54:02	一応言っとくと、皆さんの申請モデルの妥当性を説明するっていうことにしないという、
01:54:11	その結果として説明できない点は、が、
01:54:15	土肥ちゃんとか
01:54:17	っていうそういうことに尽きるんじゃないの。
01:54:20	簡単に言うと、
01:54:21	何かごちゃごちゃ書いてある
01:54:23	けど、はい。
01:54:24	神野出村さんのおっしゃる通りで今、先ほどめくらないかと思ったことをいただいているかなと思います個人の5月にやって、一応、
01:54:40	そうです。
01:54:41	はい。ありがとうございます。ありがとう。
01:54:44	今井多田農業です。まず重要な。磯野。でないか。
01:54:51	はい。よろしくお願いします。お願いします。以上でございます。
01:54:55	はい。
01:54:56	いや、でもいい。
01:55:02	やってくれるようにやって見積もりも直した。
01:55:06	徳山です。上村委員。はい。
01:55:10	んじゃないくて十分。はい。そして17時半まで17時40分。
01:55:19	トップページ見ます。
00:00:00	FARSITE
00:00:03	な振り替えの方お願いします。
00:00:05	はい。人間に医者でございます。
00:00:11	本人、
00:00:11	外の

00:00:19	まず最初の1ですけども、4ページ5ページの、
00:00:24	ですね。
00:00:30	絶対、まずこれまでの審査、復興の審査対応、
00:00:38	消して、
00:00:40	2番目は、4ページ
00:00:53	それを踏まえて具体的な
00:00:56	セッパを作る
00:01:01	②番③番、1回てます。
00:01:06	④番のところ、
00:01:16	5ページのところでございます。⑤番。
00:01:24	実態は4月の会合で言われたことということだと思っんで、それを意識して整理をさせていただいて、
00:01:35	それは何か4月でいいますかねってということで、その後っていうのにつなげていただき、わかりました。はい。
00:01:43	⑤番5ページですけどもこちらは構成としてやはりまず、何が問題だったのかっていう。
00:01:53	現状認識と、それに対しての問題点が何か、それに対してどういうことをやったのかと、いうことがわかるように、
00:02:01	奇異して、整理をさせていただきます。
00:02:03	はい。
00:02:04	で、⑥番のところは、
00:02:12	一連とかですね上に書いてあるものとの繋がりがわかりづらいところもあったんでそこは整理をさせていただきます。
00:02:18	そうです。これも神長から話があったと。
00:02:22	で、どこまでを4ページ、5、4ページ5ページで終わりにして、
00:02:30	9ページ開くところはどこなのかということも、
00:02:35	4ページ5ページの記載との関係を整理をしていくと。
00:02:42	記載の仕方っていうのも、
00:02:45	わかってくるかなという気がするんで、
00:02:48	その点も意識をして入ってもらえる。
00:02:53	はい。
00:02:55	今日5ページのところが行って話をし、
00:03:09	カバー

00:03:10	理解
00:03:22	本来、新規制基準なんてのは状況変化
00:03:26	そういう
00:03:28	て、
00:03:28	その変化を踏まえて必要な子
00:03:34	プラスということ。
00:03:39	共有するというをやらないといけないと。
00:03:42	認識には立ってます。
00:03:44	あとは今やってる様ですねあるべき姿を示すってところは先ほど冒頭に 申し上げたカバー
00:03:53	である。
00:03:54	次の Steering チームの人間を育てていくんだと。
00:03:57	上げるために今、
00:04:06	あとは、最後の 5 ページのポツは 4 ページに、
00:04:19	はい。1 ポツは、
00:04:23	日本
00:04:24	ちょっと私
00:04:41	そしたら 2 ポツの方の振り返りですけども多分、9 ページ 10 ページの全 体の御説明ところですけども、9 ページのところですねここは過去に 対する検討及び本番までの設定というところに、
00:04:55	の進捗と、今回説明に関するステータスを記載することと、ようこと で、うちの部会の説明をいただき、
00:05:04	P9 の 9 ページの積を 2 番モデルとして採用をするという記載は、これ ちょっと位置付けをきちんと見直す日付にを置いた記載としてみなす と。
00:05:17	いうことで、根井そこはですね、本件申請に於けるその取り扱いを整理 するという趣旨がちゃんとわかることを、ような記載とするということ で、
00:05:29	そういう意味でそういう意味も含めまして次のをし、基本 1 番目のベー スとして新たに 1 万本、
00:05:37	久野節、
00:05:44	最後、
00:05:46	A3 判

00:05:51	3につきましたはこれ、少しちょっと異質なので、ここ全体の稼ぎご ん対応、考えまして記載を見直させていただこうというふうに、
00:06:03	で、10 ページ目ですけども今回説明範囲をフローの中で取材してますけ れども、この11 ページ以降ですね、1 から4、すいません。のみの結果 となっておりますけれども、
00:06:15	inch の検討結果自然体示しているのであればそれがわかるに対するとい うことで全体に対してのやめることがわかるように記載するとかという ことでございます。
00:06:25	で、次に、各因子のシートについての共通のところですけどもちょっと うん。
00:06:35	小さく作って見えないところもございましてこういう表について、説 明として必要な部分につきましては調整して、良く見えるいたします。
00:06:47	で、33 ページ。
00:06:48	けれども、これは
00:06:51	本当で、結果と座っている方が、整合的
00:06:54	な4 なんですけどこれ整合的というのはそこに記載の乱暴だ。
00:06:58	ということでこの対応といいますか実感ですよ。
00:07:02	瀬上監事よりということで、褒めていただいております。
00:07:06	で、7 番は基本地盤モデルとして、安全 SE さん、5%を採用するという ことを最後に書いて、
00:07:15	それから S 波の検討評価というか、巨人かかる判例これが抜けておりま すんでこれを記載と、
00:07:22	ということでございます。
00:07:25	全体にですねこの13 ページはリアル
00:07:29	を3
00:07:29	に対しての検討が、どれだけちょっとすんのが読めるようにちょっと構 成を、
00:07:39	で、2 ページなのであれば、
00:07:43	所岡
00:07:45	というか14 ページの表処分っていうところ、表層地盤のところですけ れども、
00:07:50	こちらの坂内江藤 Vs の動向につきまして、今、感触だし、
00:07:58	1992 年以降がわかるような、

00:08:03	下に見直すということをいたします。ほぼ同等ということの説明が、どれを見てどう考えるのかと、いうことを検討。
00:08:14	ちょっとここの追記を考え、
00:08:17	で、次、4番、表、
00:08:22	対策案を作成。
00:08:24	11番上の表でいうと、
00:08:29	3沢木について、先ほど
00:08:34	記載の
00:08:35	もごさいますのでそれを譲るところも含めて、その後、
00:08:40	何かどちらのことを書いてるのかという、
00:08:43	あります。
00:08:43	についても記載したいと。
00:08:46	それから、このシートに書いております、各グラフの端数があきませんのでこれをちょっとあわせて見やすいように、と修正させていただきたいと。
00:08:56	以上でございます。
00:09:00	規制庁営です中身というより、今、不結構こういうやり方の振り返りを何回もやってる中で、
00:09:10	ちょっと思ってることが、やりとりしたことを結構、1回1回書いてるなっていう感じがしてですね、今表層地盤の、例えば10、
00:09:21	2番みたいな話、深さスケールっていうのは、その前、結構一番最初にあった、4番とか5番か。はい。上西共通の中にも、
00:09:32	全部入っちゃうっていう話なんですけど、それが結構繰り返し書かれたりしているんで、もうちょっと
00:09:38	短縮化っていう意味でもこういうことですよってまとめてもらったりした方がいいと思いますし、あと、11番の記載とか、
00:09:53	今だと10番になりましたかね、ほぼ同等ということの説明が可能なようになってックスはこちらがそう思っていないんですけど。
00:10:03	こっちがそう。
00:10:06	ちょっと、
00:10:13	こちらわかってもらえてるとは思ってるんで細かくは突っ込んでないんです。
00:10:18	勘違いのないように、ぜひ、

00:10:21	いたしました。
00:10:27	まだやり始めだし、結構時間のなかでやってるっていうのも理解して ます。
00:10:35	真下監事の古作です能勢
00:10:40	君としておくと、
00:10:41	今の前半で言った話、
00:10:46	言われたこと逐一ではなくて、ポイントを掴んでまとめると。
00:10:51	関係は、
00:10:52	結構原燃がトップ得意としていたところ、
00:10:56	これまで、
00:10:57	だと思ってて、結局言われたことだけやるっていうことに繋がってる。
00:11:05	南通ヒアリングメモっていう
00:11:08	いうこと。
00:11:10	になったた。
00:11:10	で、
00:11:12	アポイントを掴むってそのまとめる等、水平展開、
00:11:17	言われ、
00:11:18	久田岩根
00:11:19	やんなきゃねっていうふうに、
00:11:22	自分で気が付くポイントになって、作業に
00:11:27	繋がっていくと思うので、ぜひそういう視点を、こういうところから、
00:11:33	身につけて欲しいな。
00:11:35	Steering チームがそれを見せること。
00:11:38	そういうふうにして、
00:11:40	会合会合なりヒアリングなりっていうのがまとめていって、次につなげ ていくんだ、で、本来自分たちは元からそういうことを気づかなきゃい けないんだと。
00:11:52	いうふうを示していくポイントなんじゃないか。
00:11:57	私自身もいろいろとそういうと考えてますけど、
00:12:01	やっていただければと。
00:12:04	で、後半部分の記載ぶりの
00:12:07	関係でいうと、これも原燃がこれまでよくやってた問題点で、

00:12:14	記載した本人は理解して書いているのかもしれないんですけど、それを見た他の社員は、
00:12:21	勘違いをし、
00:12:25	ほぼ同等って、
00:12:27	認めてもらったんだみたいな。
00:12:29	ふうに勘違いをする人も結構いてですね。
00:12:33	その後のヒアリング、
00:12:37	対応からすると、あれそんなこと言ってないんだけどっていうようなこと、いや、でもそういうふうに聞きましたよみたいに、
00:12:43	なることが多かった。
00:12:45	ですね。
00:12:45	なのでそういった点ではその誤解を受けないようにっていうまた読み手側に、
00:12:51	立って見なおしてみると、いうことも、
00:12:55	気をつけていただくと、
00:12:57	後々ですね、っていうようなことを、
00:13:02	こういうのは、そういう、
00:13:04	経験を数限りなく、
00:13:06	こうむったか。
00:13:08	同じことが発生しますよということになるので、
00:13:13	認識して対応いた。
00:13:17	はい。笠井常務の方でございますありがとうございます。今おっしゃっていただいたご指摘まさにその Steering チームメンバーの力量も問われていることだと。
00:13:27	いうふうには認識おましてどこまで務められるかと言うのはちょっと努力して参ります。ありがとうございます。
00:13:38	はい。六ヶ所3番移してもらっていいですか。
00:14:01	はい。3ポツですけど、
00:14:03	言っちゃいかん。
00:14:05	まず一つ目は、P20 ですね。
00:14:11	みんな 20P てこ
00:14:12	にいるピースだと、チーズになっちゃった。
00:14:18	20

00:14:19	どこで4番目の
00:14:25	方
00:14:26	何で違う
00:14:32	はい。あとは、20ページ全体的に終わった感を出したつもりはないんですけど、実施とか整理とか、
00:14:41	終わった考えるで思いぐだってということがわかるように水の記載を整理をさせていただきます。
00:14:47	はい。
00:14:48	あとは14番、これ今後の進め方、
00:14:56	なんか
00:14:59	触れないと、再処理が何も進んでないみたいなのでそこは明確にさせていただきます。
00:15:05	これ木曜日出して金曜日に上げるのも踏まえて整理をさせていただきます。
00:15:10	15番は、ちょっとどちらかという進め方の範囲になりますのでスケジュール、
00:15:16	はい。16番へこれは順番ではないのかっていう紙媒体としては設計と説明する分、順番ですねこれを、
00:15:26	何を優先するのか、何が最ボックスの特徴なのかっていうのを考えた上で、再処理の説明順番との関係も踏まえて、整理をさせていただきますということだったと思う。
00:15:38	多分、先ほどの話じゃないけど私がこうやって口を追加してる話をですね。
00:15:43	多分追加していかないとわからない。
00:15:46	多分、
00:15:47	17番ですね、これは設計説明、
00:15:53	PTというポイント
00:15:56	形をわかるようにして、何をこの22ページで説明しているのか、というのをちゃんとわかるようにするという事。
00:16:03	あとは関連条文で他のグルーピングに振ると言っているものとそのグループで説明するものをちゃんと率を分けて、
00:16:11	17番、
00:16:13	です。

00:16:16	18 番も、さっきの 27 番で列を分けて説明して書いてそれがわかるようになれば、別に下の文章もあんまりいらんかなと思うんで、整理をさせていただきますと。
00:16:28	はい。
00:16:29	19 ページのところ 19 番のところ 24 ページのところは、どちらかというと 20 ページの修正をして再処理の方の関係を競っ示すことで、重大事故に通った内容に整理をする。
00:16:42	いうこと、あと 20 番最後んとこですけど、もう複数分割申請で第 2 回の範囲ってというのが全体を示してないのがあるんで、それは
00:16:50	その前のうち、それぞれ表でですね、どこまでを説明する範囲なのかっていうのがわかりさせていただくということでございました。はい。
00:16:58	振り替えの方以上でございます。
00:17:07	規制庁横山です。全体通して規制庁から何かありますでしょうか。
00:17:18	日本原燃からってどうしてなんかありますでしょうか。
00:17:22	特にござい。
00:17:23	はい。
00:17:26	それではこれで本日の議案を終了しますと、高温停止し、